



長崎大学脳神経外科学教室

# 年 報

2016 (平成28)



長崎大学脳神経外科学教室

年 報

2016 (平成28)



長崎大学脳神経外科同門会忘年会 (2016. 12. 3 於 ベストウエスタンプレミアホテル長崎)



2016年御用納め (2016. 12. 28 於 長崎大学脳神経外科医局)

# 1. はじめに

# 1. はじめに

長崎大学脳神経外科

教授 松尾孝之

毎年この時期になると多くの大学より年報を送っていただき、目を通すことになる。まずは、各教授が書かれている巻頭の文章を読み、本当に素晴らしく、為になる事が書かれており、自分の甘さや未熟さを自覚させられる。その内容は幅広く、医者とは？脳神経外科医とは？に始まり、医療情勢、政治、歴史そして教室運営、教育と本当に勉強させられるものである。

教授と言う立場になり、学会や研究会などの機会に多くの大学の脳外科医教育方針や現状を聞く機会が増えた。地域の特徴や教室の方針により、脳神経外科関連施設の役割分担や専門医教育システムの構築に対する考え方やそのアプローチ法に差が大きいことがよくわかる。各大学の年報を見ている、それを垣間見る事が出来る。さて長崎の現状はどうだろうか？長崎市内関連病院で集まって月に一度、市内の脳神経外科疾患の動向を検討している。大学病院、みなとメディカル医療センター、十善会病院、済生会病院の急性期を扱う病院である。各病院で扱うクモ膜下出血など脳外科医が最も張り切る疾患はそう多くはなく、手術の経験を積むことが以前より難しくなっている。私が研修医であったころからの、30年弱の症例の変遷を見てみると、済生会病院、みなとメディカル医療センターが加わり、同門から三宅先生、安永先生、古賀先生が開業された。恵美須町病院は本年度で閉院されあじさい病院へその機能を移した。病院の増加と症例の分散が一つの原因であろう。もう一つは大学病院への症例の集中にある。私が研修医であった頃は夜遅くまで病棟に残り、忙しかったことを若い先生たちによく話をしたが、平成元年の大学の手術数は207例（入院248例、医師数13名）、平成15年永田先生就任時には手術290例（入院418例、医師数15名）、平成28年は手術557例（入院563例、医師数18名）と過去最多の症例を経験している。技術の進歩や機器の進歩で手術時間は短縮し術後の管理に費やす時間は減ったとは言え、医療も高度化しており、もしかしたら今大学にいる若い先生たちのほうがずっと、我々の頃より忙しい環境に置かれているのかも知れない。そのような中で、少しの息抜きがしたいと言う大園先生を中心とする若い先生たちからの提案で医局旅行の話が持ち上がった。医局旅行を最後に企画したのは、柴田教授時代の沖縄での地方会が最後では無いかと記憶している。平成元年卒の我々が専門医試験を受けた年なので、もうかれこれ20年以上前の事になる。残念ながら急な企画

で参加できなかった人も多かったが、桜島、温泉、水族館とそれぞれに楽しい時間を過ごすことが出来た。大学病院の症例の増加は昨今の厳しい医療情勢にさらされている地域の関連病院の事を考えると手放しには喜べない。県下の各医療圏においても長崎市内の状況と同じような問題を抱えており、県下全体での病院間連携、脳神経外科専門教育および脳神経外科医としての労働環境を考えた役割分担を更に進め、同門の皆様が脳神経外科医としての充実した日常が送れるような環境作りを目指してまいりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

本年度4月より、高嶋先生がリハビリテーション部へ病院准教授として就任され、今後、持ち前の行動力で、基本診療科の一つとしてのリハビリ科の立ち上げを行ってもらえるものと期待しております。

# 目 次

1. はじめに	
2. 業 績 (2016年1月～12月)	
長崎大学脳神経外科	1
長崎労災病院	21
佐世保市総合医療センター	26
国立病院機構長崎医療センター	33
長崎県島原病院	41
済生会長崎病院	44
長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター	47
十善会病院	50
長崎みなとメディカルセンター	52
恵美須町病院	56
宮崎病院	57
小波瀬病院	59
福岡青洲会病院	61
周南記念病院	63
公立みつぎ総合病院	67
北九州市立八幡病院	68
石坂脳神経外科	70
安永脳神経外科	72
井上脳神経外科	75
陣の内脳神経外科クリニック	76
三宅脳神経外科	77
伊崎脳神経外科	78
古賀脳神経外科	81
桑原脳神経外科	82
日浦病院	83
山鹿クリニック	84
つつみ脳神経外科クリニック	85
ひらた脳神経外科クリニック	86
山下脳神経外科クリニック	87
3. 研 究 会	
①長崎脳神経疾患治療研究会	89
②長崎脳腫瘍研究会	90
③長崎間脳下垂体疾患カンファレンス	91
④長崎脳卒中市民講座	92

⑤長崎大学脳神経外科市民公開講座	93
⑥長崎脳血管内治療研究会	94
⑦長崎ニューロイメージングカンファレンス	95
⑧長崎脳疾患研究会	95
⑨ストップ！NO卒中プロジェクトエリア会議 in 長崎	96
⑩脳神経外科Expert Meeting	96
⑪長崎脳神経外科フォーラム	97
⑫長崎てんかん研究会	98
⑬長崎くも膜下出血研究会・長崎脳血管内治療研究会	99
⑭長崎転移性脳腫瘍治療カンファレンス	99
⑮長崎脳神経外科研究会	100
4. 現況報告（2017年4月現在）	
長崎大学脳神経外科医局	103
長崎労災病院	105
佐世保市総合医療センター	106
国立病院機構長崎医療センター	107
長崎県島原病院	109
済生会長崎病院	110
長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター	112
十善会病院	114
長崎みなとメディカルセンター	116
小波瀬病院	117
福岡青洲会病院	118
周南記念病院	119
公立みつぎ総合病院	121
安永脳神経外科	122
三宅脳神経外科	123
つつみ脳神経外科クリニック	124
5. 先輩便り	127
古賀博明、堤 健二、西村修平、井上 優、栗原正紀	
6. 医局員便り	133
高島英昭	
7. 長崎大学脳神経外科の現況	135
8. 新入局員紹介	137
高平良太郎、杉川知香、古賀美由紀、吉村正太	

**2. 業 績**  
**(2016年1月～12月)**

## 2. 業績 (2016年1月～12月)

## 長崎大学脳神経外科

(〒852-8501 長崎市坂本1-7-1 診療科長 松尾孝之)

## (1) 医師数 15 (専門医 11)

松尾孝之、案田岳夫、角田圭司、鎌田健作、出雲 剛、堀江信貴、吉田光一、  
氏福健太、諸藤陽一、馬場史郎、梅野哲也、定方英作、藤本隆史、郡家克旭、  
大園恵介、平尾朋仁 (救命センター)

## (2) 病床数 38

## (3) 入院症例数 563

## (4) 手術症例数 408

brain tumor	84
pituitary adenoma	19
meningioma	15
glioma	24
malignant lymphoma	5
metastatic brain tumor	13
craniopharyngioma	4
neurinoma	4
ruptured aneurysm (craniotomy)	23
ICA	9
MCA	10
Acom	4
multiple	0
unruptured aneurysm (craniotomy)	50
ICA	21 (high flow bypass 併用：4例)
AcomA	7
ACA	0
MCA	11
BA	0
VA-PICA	4
PCA	1
PICA	1

	multiple	5	
hypertensive ICH	.....		24
	craniotomy	17	
	CT stereotactic	0	
	endoscopic	7	
moyamoya disease	.....		10
(STA-MCA anastomosis with EMS)			
ICA steno-occlusion (STA-MCA anastomosis)	.....		12
ICA stenosis (carotid endarterectomy)	.....		13
AVM	.....		3 (spinal AVM 1)
dAVF	.....		3 (spinal dAVF 1)
spinal lesion	.....		33
tumor	intradural extramedullary	2	
	extradural	1	
AVF		2	
cervical	C1-2 fixation	3	
	ACDF	2	
	laminoplasty	8	
thoracic	decompression	1	
	arachnoid cyst	1	
lumbar	decompression	7	
	PLIF	1	
chiari Type I	FMD	3	
spina bifida	myeloschisis	2	
head trauma	.....		60
acute epidural hematoma		7	
acute subdural hematoma		12	
chronic subdural hematoma		37	
intracerebral hematoma		2	
ICP sensor implantation		2	
MVD	.....		5
shunt	.....		31
endoscopic third ventriculostomy	.....		1
ventricular drainage	.....		15
decompressive craniotomy	.....		9
cranioplasty	.....		13
brain abscess	.....		3
others	.....		16

## (5) 定位の放射線治療症例数 43

stereotactic radiosurgery(SRS) .....		3
metastatic brain tumor	2	
AVM	1	
stereotactic radiotherapy .....		21
metastatic brain tumor	21	
intensity modulated radiation therapy(IMRT) .....		19
glioma	11	
meningioma	5	
metastatic brain tumor	3	

## (6) 血管内手術症例数 125

aneurysm (SAH) .....		24 (SAH 8)
intra-aneurysmal	21	
parent artery occlusion	3	
AVM .....		4 (Onyx 2)
brain	3	
spine	1	
AVF .....		22
TAE	12	
TVE	10	
ICA stenosis .....		2
stent	2	
subclavian /vertebral artery stenosis .....		1
stent	1	
tumor .....		4
thrombolysis/PTA/retrieve .....		42
vasospasm .....		7
trauma .....		2
BOT .....		7
intraoperative angiography .....		6 (Hybrid OR 6)
others .....		4

## (7) 剖検数 0

(8) 論文

Tsunoda K, Fukushima M, Yasunaga A, Matsuo T: A case of adjacent segment disc herniation following cervical laminoplasty. *J Spine Care* 1(2): 1-2, 2016

Takahashi JC, Funaki T, Houkin K, Inoue T, Ogasawara K, Nakagawara J, Kuroda S, Yamada K, Miyamoto S, JAM Trial Investigators (Nobutaka Horie): Significance of the Hemorrhagic Site for Recurrent Bleeding: Prespecified Analysis in the Japan Adult Moyamoya Trial. *Stroke* 47(1): 37-43, 2016

Tateishi Y, Hamabe J, Kanamoto T, Nakaoka K, Morofuji Y, Horie N, Izumo T, Morikawa M, Tsujino A: Subacute lesion volume as a potential prognostic biomarker for acute ischemic stroke after intravenous thrombolysis. *J Neurol Sci.* Vol.369: 77-81, 2016

Horie N, Tateishi Y, Morikawa M, Morofuji Y, Hayashi K, Izumo T, Tsujino A, Nagata I, Matsuo T: Acute stroke with major intracranial vessel occlusion: Characteristics of cardioembolism and atherosclerosis-related in situ stenosis/occlusion. *J Clin Neurosci* 32: 24-29, 2016

Mauricio J. Del Razo, Morofuji Y, James S. Meabon, B. Russell Huber, Elaine R. Peskind, William A. Banks, Pierre D. Mourad, Randall J. Leveque, David G. Cook : Computational and in vitro studies of blast-induced blood-brain barrier disruption. *SIAM J. Sci. Comput.* 38 (3): B347-B374, 2016

Sakuma S, Halliday WC, Nomura R, Baba S, Sato Y, Okanari K, Nakajima M, Widjaja E, Boelman C, Ochi A, Snead OC 3rd, Rutka JT, Drake J, Miller S, Otsubo H: Increased subcortical oligodendroglia-like cells in pharmacoresistant focal epilepsy in children correlate with extensive epileptogenic zones. *Epilepsia.* 57(12): 2031-2038, 2016

Baba S, Onga K, Kakizawa S, Ohyama K, Yasuda K, Otsubo H, Scott BW, Burnham WM, Matsuo T, Nagata I, Mori N: Involvement of the neuronal phosphotyrosine signal adaptor N-Shc in kainic acid-induced epileptiform activity. *Sci Rep.* 6: 27511, 2016

Nakajima M, Widjaja E, Baba S, Sato Y, Yoshida R, Tabei M, Okazaki A, Sakuma S, Holowka SA, Ochi A, O. Carter Snead OC 3rd, Rutka JT, Drake JM, Shiraishi H, Doesburg S, Otsubo H: Remote MEG dipoles in focal cortical dysplasia at bottom of sulcus. *Epilepsia* 57(7): 1169-1178, 2016

Kagawa K, Iida K, Hashizume A, Katagiri M, Baba S, Kurisu K, Otsubo H: Magnetoencephalography using gradient magnetic field topography (GMFT) can predict successful anterior corpus callosotomy in patients with drop attacks. *Clin Neurophysiol.* 127(1): 221-229, 2016

Fujimoto T, Morofuji Y, Horie N, Izumo T, Hayashi K, Kawano H, Matsuo T, Nagata I: One Cause of Secondary Hypertension: Neurogenic Etiology. *Circulation* 133(20): 1985-1986, 2016

Fukuda S, Nakagawa S, Tatsumi R, Morofuji Y, Takeshita T, Hayashi K, Tanaka K, Matsuo T, Niwa M: Glucagon-Like Peptide-1 Strengthens the Barrier Integrity in Primary Cultures of Rat Brain Endothelial Cells Under Basal and Hyperglycemia Conditions. *J Mol Neurosci* 59(2): 211-219, 2016

Yamaguchi S, Horie N, Hayashi K, Fukuda S, Morofuji Y, Hiu T, Izumo T, Morikawa M, Matsuo T: Point-by-point parent artery/sinus obliteration using detachable, pushable, 0.035-inch coils. *Acta Neurochir* 158(11): 2089-2094, 2016

松尾孝之: 長期治療結果を踏まえた我々の頭蓋咽頭腫治療指針の変遷. *日本内分泌学会雑誌* 92 (Suppl. HPT): 24-26, 2016

赤松隼人、樋口則英、立石洋平、辻野 彰、堀江信貴、出雲 剛、佐々木 均、北原隆志: 抗血栓薬内服が急性期脳出血患者の退院時の死亡率に及ぼす影響. *医療薬学*42(3): 168-173, 2016

角田圭司: 潜在性二分脊椎として紹介された患者の検討. *日本脊髄障害医学会雑誌*29(1): 110-111, 2016

氏福健太、松尾孝之: 神経膠芽腫の放射線治療. *脳神経外科速報* 26(5): 469-474, 2016

松尾孝之:【序文】. *定位放射線治療* 20: 1-1, 2016

松尾孝之:「頑張る」ということ. *No Shinkei Geka* 44(6): 447-448, 2016

松尾孝之:【4. 外科解剖】 [A. 視床下部・下垂体・下垂体茎], [B. 経鼻アプローチで必要な解剖], 『頭蓋咽頭腫パーフェクトブック』中外医学社（東京）: pp.36-53, 2016

松尾孝之:【西彼杵医師会生涯教育講演会報告】脳神経外科の最新手術－神経内視鏡を中心に－. *西彼杵医師会報* 104(2): 51-52, 2016

出雲 剛: 頭蓋内動脈狭窄症について. *日本脳神経財団ニュース『ぶれいん』*No.125: pp.10-11, 2016

(9) 学会発表

頭蓋咽頭腫に対する手術戦略

松尾孝之

第5回岡山脳神経外科医会総会 (2016.2.6、岡山市)

長期治療結果を踏まえた我々の頭蓋咽頭腫治療指針の変遷

松尾孝之

第26回日本間脳下垂体腫瘍学会 (2016.2.19-20、福島市)

脳外科医から見た肺癌脳転移に対する治療の変遷【ランチョンセミナー】

松尾孝之

第76回日本呼吸器学会・日本結核病学会九州支部春季学術講演会 (2016.3.19、鹿児島市)

Micro-Vascular decompression を始めるにあたって

松尾孝之

第41回日本脳卒中学会総会 (2016.4.13-16、札幌市)

手術アプローチに応じた開頭の工夫【ランチョンセミナー】

松尾孝之

第36回日本脳神経外科コンgres総会 (2016.5.20-22、大阪市)

間脳下垂体部への手術アプローチ

松尾孝之

第32回筑後・佐賀脳神経外科懇話会 (2016.7.13、久留米市)

Indication and limitations of endoscopic extended transsphenoidal surgery for craniopharyngioma

Takayuki Matsuo, Kensaku Kamada

The 7th Global Neurologists Annual Meeting on Neurology and Neurosurgery

(2016.8.22-8.24, Wien)

脳卒中救急から脳腫瘍までー開業医の先生方に知っていただきたい脳神経外科診療ー

松尾孝之

第300回長崎市臨床内科医会例会 (2016.11.22、長崎市)

眼と関わる脳腫瘍

松尾孝之

第209回長崎眼科集談会 (2016.12.18、長崎市)

周南記念病院における脳卒中の取り組み

案田岳夫

(株)日本脳卒中協会共同事業ストップ脳卒中プロジェクト、エリア会議 in 長崎 (2016.7.22、長崎市)

脳卒中治療

案田岳夫

第22回島原脳卒中研究会 (2016.8.4、島原市)

非外傷性椎骨動脈解離連続症例の検討

案田岳夫、本田 優

日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

症例検討 (頸椎椎弓形成術後の脊髄浮腫の症例)

角田圭司、松尾孝之

第24回長崎脊椎研究会 (2016.1.9、長崎)

木原法におけるC7部分椎弓切除操作の改良について

角田圭司、松尾孝之

第14回 NEURO Spinal セミナー (2016.2.13、松山)

専門医試験の為のミニレクチャー (先天性脊髄脊椎疾患、空洞症)

角田圭司

第6回九州山口ニューロスパイン研究会 (2016.4.9、福岡)

特発性脊髄硬膜外血腫の臨床像

角田圭司、松尾孝之、立石洋平

第45回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2016.4.14-16、千葉市)

頸椎疾患によるしびれ

角田圭司

日本脳神経外科学会九州支部会市民公開講座「脊椎疾患がもたらす“しびれ”とその治療」  
(2016.5.28、長崎)

片開き椎弓形成術におけるヒンジ側骨癒合の検討

角田圭司、松尾孝之

第31回日本脊髄外科学会 (2016.6.9-10、東京)

先天性皮膚洞に伴う硬膜内膿瘍の術後、残存デルモイドの増大を来した1例  
角田圭司、定方英作、吉田光一、松尾孝之  
第44回日本小児神経外科学会（2016.6.23-24、つくば市）

先天性皮膚洞に伴う硬膜内膿瘍の術後、残存デルモイドの増大を来した1例  
角田圭司、定方英作、吉田光一、松尾孝之  
第15回京都鴨川脊椎手術研究会（2016.6.25、京都）

確定診断に苦慮した頸髄髄内病変の1例  
角田圭司、定方英作、松尾孝之、安倍邦子  
第2回美ら海セミナー（2016.7.17、沖縄県浦添市）

確定診断に苦慮した頸髄髄内病変の1例  
角田圭司、定方英作、松尾孝之、安倍邦子  
第15回 NEURO Spinal セミナー（2016.9.10、岡山）

脊髄腫瘍摘出術後の椎弓再建方法の変遷  
角田圭司、松尾孝之  
第23回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会（2016.9.16-17、札幌市）

チタン製スペーサーを用いた片開き椎弓形成術におけるヒンジ側骨癒合の検討  
—HAスペーサーとの比較検討—  
角田圭司、松尾孝之  
日本脳神経外科学会第75回学術総会（2016.9.29-10.1、福岡市）

チタン製スペーサーを用いた椎弓形成術  
角田圭司、松尾孝之  
第25回日本インストゥルメンテーション学会（2016.10.28-29、長崎）

急性後頸部痛で発症した結晶誘発性関節炎症例の検討  
角田圭司、松尾孝之  
第51回脊髄障害医学会（2016.11.10-11、千葉市）

後大脳動脈瘤の一例  
出雲 剛、定方英作、前田 肇、諸藤陽一、堀江信貴、林健太郎、松尾孝之  
第3回Hybrid Neurosurgery研究会（2016.3.19、東京）

技術伝承を念頭においた長崎大学における頸動脈内膜剥離術の基本手技【シンポジウム】

出雲 剛、松尾孝之、永田 泉

第25回脳神経外科手術と機器学会（CNTT2016）（2016.3.25-26、新潟）

コイル塞栓術後再発脳動脈瘤に対する開頭根治術～アプローチ法およびクリップ選択の重要性

出雲 剛、諸藤陽一、日宇 健、堀江信貴、立石洋平、林健太郎、辻野 彰、松尾孝之、永田 泉

第45回日本脳卒中の外科学会総会（2016.4.14-16、札幌市）

小児もやもや病に対する血行再建術～当科における工夫

出雲 剛、松尾孝之、永田 泉

第45回日本脳卒中の外科学会総会（2016.4.14-16、札幌市）

ゲイン・ラインを意識した術野展開による開頭脳動脈瘤クリッピング術：前方循環動脈瘤編

出雲 剛、松尾孝之、諸藤陽一、堀江信貴、永田 泉

第9回南十字星脳神経外科手術研究会（2016.7.2-3、沖縄）

直達手術にて治療を行った海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻の一例

出雲 剛、定方英作、諸藤陽一、堀江信貴、立石洋平、辻野 彰、松尾孝之

第4回Hybrid Neurosurgery研究会（2016.9.3、東京）

高位頸動脈狭窄病変に対する頸動脈内膜剥離術

出雲 剛、松尾孝之、永田 泉

日本脳神経外科学会第75回学術総会（2016.9.29-10.1、福岡市）

Surgical Treatment of Ruptured Anterior Circulation Aneurysms: Comparative Analysis of Modified and Standard Pterional Craniotomies

Tsuyoshi Izumo M.D., Ph.D., Yoichi Morofuji M.D., Ph.D., Kentaro Hayashi M.D., Ph.D., Nobutoshi Ryu M.D., Ph.D., Takayuki Matsuo M.D., Ph.D.

the 10th World Stroke Congress（2016.10.26-29, Hyderabad）

4KハイビジョンシステムExoscopeを用いた頸動脈内膜剥離術の初期使用経験

出雲 剛、鎌田健作、松尾孝之

第23回日本神経内視鏡学会（2016.11.17-18、東京）

Usefulness of skull-mounted frameless image-guided stereotactic brain biopsy system.

Kensaku Kamada

The 7th Global Neurologists Annual Meeting on Neurology and Neurosurgery

(2016.8.22-8.24, Nienbaugurt, Wien)

膠芽腫に対する強度変調放射線治療の有用性

鎌田健作

日本脳神経外科学会 第75回学術総会 (2016.09.29-10.1、福岡市)

4Kカメラヘッドを使用した神経内視鏡手術の初期経験

鎌田健作

第23回日本脳神経内視鏡学会 (2016.11.16-11.18、東京)

強度変調放射線治療を用いた膠芽腫に対する放射線治療期間短縮の試み

鎌田健作

第34回日本脳腫瘍学会学術集会 (2016.12.4-12.6、甲府市)

2次元神経内視鏡と3次元神経内視鏡 その有用性

鎌田健作

第10回長崎間脳下垂体疾患カンファレンス (2016.3.18、長崎市)

内視鏡下脳内血腫除去術

鎌田健作

第11回長崎脳疾患研究会 (2016.7.6、長崎市)

脳腫瘍に対するベバシズマブの使用経験

鎌田健作

長崎転移性脳腫瘍治療カンファレンス (2016.12.16、長崎市)

ハイドロコイルの特徴を考慮した脳血管内手術

堀江信貴

テルモ血管内治療技術検討会 (2016.1.29、福岡市)

下位頸髄myelopathyを生じたCCJ dural AVF の1例

堀江信貴

第5回Interventional Anatomy in Neurovascular System(IANS) Seminar (2016.1.30、福岡市)

脳血管内治療と全身のイベント・予防管理を考慮した抗血栓療法【依頼講演】

堀江信貴

ATIS Expert Conference 南九州エリア (2016.2.6、福岡市)

脳血管内治療と全身のイベント・予防管理を考慮した抗血栓療法【依頼講演】

堀江信貴

ATIS Expert Conference 北九州エリア (2016.2.27、福岡市)

De Novo Ivy Sign Indicates Postoperative Hyperperfusion in Moyamoya Disease

Nobutaka Horie, Minoru Morikawa, Youichi Morofuji, Takeshi Hiu, Tsuyoshi Izumo, Kentaro Hayashi, Izumi Nagata

International Stroke Conference 2016 (2016.2.17-19, Los Angeles)

Risk Factors Related to Aneurysmal Rebleeding after Subarachnoid Hemorrhage: Characteristics in the Pre-, Intra- and Postoperative Period【Moderated Presentation】

Nobutaka Horie, Makio Kaminogo, Tsuyoshi Izumo, Hajime Maeda, Yoichi Morofuji, Izumi Nagata, Takayuki Matsuo

International Stroke Conference 2016 (2016.2.17-19, Los Angeles)

急性期脳梗塞治療における血管内治療の重要性 ～ Trevo® XP ProVue Retriever の実力～急性期脳梗塞治療に対するチーム連携と挑戦【ランチョンセミナー】

堀江信貴

第36回日本脳神経外科コンgres総会 (2016.5.20、大阪)

Stem Cell Transplantation for Experimental Stroke【依頼講演】

Nobutaka Horie

The 1st joint symposium between Nagasaki University and Würzburg University  
(2016.5.12-13, Nagasaki)

-Penumbra Up Date-【教育講演】

PenumbraシステムとStentリトリーバーで回収された血栓に違いはあるのか

堀江信貴

脳血管内治療ブラッシュアップセミナー 2016 企業共催セミナー (2016.6.30-7.1、神戸市)

Acute stroke showing major intracranial vessel occlusion

characteristics of cardioembolics and atherosclerosis related in situ stenosis/occlusion

Nobutaka Horie

East Asian Conference of Neurointervention 2016 (2016.7.3, Kobe)

頸動脈プラークイメージングを駆使した頸部頸動脈狭窄症の治療

堀江信貴

サノフィ社内勉強会 (2016.7.28、長崎)

LVIS Jrにて治療を行った脳動脈瘤の3例【依頼講演】

堀江信貴

脳血管内治療技術検討会 (2016.7.29、大分)

T2\*WIで延髄から頸髄に低信号域を認めたCCJ dAVFの2例【依頼講演】

堀江信貴

第一回DSA道場Kyushu (2016.8.6、別府市)

急性期再開通療法における回収血栓はPenumbraとStentで異なるのか？

堀江信貴、定方英作、諸藤陽一、出雲 剛、立石洋平、森川 実、辻野 彰、案田岳夫、松尾孝之

日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

破裂脳動脈瘤の再破裂に着目した血管内治療の優位性 -Big Dataを用いた治療の標準化-

堀江信貴、佐藤俊太郎、定方英作、諸藤陽一、出雲 剛、森川 実、松尾孝之

第32回日本脳神経血管内治療学会総会 (2016.11.24-26、神戸市)

血栓性状からみた急性期脳梗塞に対する血管内血行再建術

堀江信貴、定方英作、諸藤陽一、出雲 剛、立石洋平、森川 実、辻野 彰、松尾孝之

第32回日本脳神経血管内治療学会総会 (2016.11.24-26、神戸)

ATIS 患者に最適な抗血小板療法は？ -脳の立場から - 【依頼講演】

堀江信貴

ATIS Exchange ウェブカンファレンス (2016.12.12)

Neurofibromatosis Type 1 に合併した high grade glioma

吉田光一、藤本隆史、梅野哲也、出端亜由美、氏福健太、鎌田健作、松尾孝之

日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

激しい痛みで見つかった後頭部偽性髄膜瘤の1例

吉田光一、定方英作、角田圭司、松尾孝之

第44回日本小児脳神経外科学会 (2016.6.23-6.25、つくば市)

非小細胞肺癌切除術・化学療法後出血を繰り返しながら極めて緩徐に増大した転移性脳腫瘍の1例

中武康隆、塩崎絵美、松藤 寛、藤本隆史、吉田光一、鎌田健作、松尾孝之  
第123回日本脳神経外科学会九州支部会（2016.6.11、久留米市）

長崎大学病院脳神経外科におけるギリアデルの使用経験

吉田光一、梅野哲也、馬場史郎、氏福健太、鎌田健作、松尾孝之  
脳神経外科Expert Meeting（2016.10.28、長崎市）

optic pathway 以外に発生したNF 1 に合併する悪性神経膠腫

吉田光一、梅野哲也、馬場史郎、氏福健太、鎌田健作、松尾孝之  
第34回日本脳腫瘍学会学術集会（2016.12.4-12.6、甲府市）

アンケート方式による脳神経外科医てんかん診療の把握

吉田光一、馬場史郎、鎌田健作、松尾孝之  
第2回長崎脳神経外科フォーラム（2016.11.1、長崎市）

Clinicopathological examination of three cases of pituitary carcinoma

Yoshida K, Kamada K, Umeno T, Debata A, Ujifuku K, Matsuo T

The 14th Young-Honum and Kyusyu neurosurgical joint meeting（2016.11.12、福岡市）

80歳以上の膠芽腫に対する生検術後化学放射線治療

吉田光一、梅野哲也、出端亜由美、氏福健太、鎌田健作、松尾孝之  
脳神経外科Expert Meeting（2016.4.23、奈良市）

脳梗塞急性期におけるarterial spin labeling (ASL) の有用性

諸藤陽一、立石洋平、森川 実、前田 肇、堀江信貴、出雲 剛、松尾孝之  
第23回血管内治療学会九州地方会（2016.1.16、福岡）

急性期血栓回収療法—Door to Puncture Time短縮のための院内体制構築—

諸藤陽一、立石洋平、堀江信貴、出雲 剛、松尾孝之  
第21回日本脳神経外科救急学会（2016.1.29-30、東京）

脳梗塞急性期におけるarterial spin labeling MRIによる閉塞血管及び側副血行路の同定—

諸藤陽一、立石洋平、堀江信貴、出雲 剛、松尾孝之  
第41回日本脳卒中学会総会（2016.4.14-16、札幌市）

治療困難な脳底動脈瘤の1例

諸藤陽一、堀江信貴、出雲 剛、松尾孝之

第4回五島列島脳血管障害カンファレンス (2016.4.23、平戸市)

治療に難渋した神経原性高血圧症の一例

諸藤陽一、出雲 剛、藤本隆史、堀江信貴、永田 泉、松尾孝之

第9回南十字星脳神経外科手術研究会 (2016.7.2-3、沖縄)

Endovascular Therapy for Acute Ischemic Stroke: impact of early decision-making during MRI evaluation

Yoichi Morofuji, Yohei Tateishi, Minoru Morikawa, Nobutaka Horie, Tsuyoshi Izumo, Takayuki Matsuo

The 13th JKJC on Surgery for Cerebral Stroke (2016.9.22-24, Busan, Korea)

脳虚血急性期治療における血栓回収療法の課題—再開通から転帰改善へ—

諸藤陽一、立石洋平、堀江信貴、定方英作、出雲 剛、森川 実、松尾孝之

日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

Endovascular Therapy for Acute Ischemic Stroke -Significance of Door to Puncture Time-

Yoichi Morofuji, Yohei Tateishi, Minoru Morikawa, Eisaku Sadakata, Takashi Fujimoto, Nobutaka Horie, Tsuyoshi Izumo, Takayuki Matsuo

10th World Stroke Congress (2016.10.26-29, Hyderabad, India)

Collateral flow detected by arterial spin labelling MR imaging can predict outcome in endovascular recanalization for acute ischemic stroke

Morofuji Y, Tateishi Y, Horie N, Sadakata E, Morikawa M, Izumo T, Tsujino A, Matsuo T

The 13th International Symposium on Thrombolysis, Thrombectomy and Acute Stroke Therapy (TTST2016), (2016.10.30-11.1, Kobe)

脳虚血急性期治療における血栓回収療法の課題—再開通から転帰改善へ—

諸藤陽一、立石洋平、堀江信貴、定方英作、出雲 剛、森川 実、松尾孝之

第32回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2016.11.24-26、神戸市)

両側前頭葉高悪性度グリオーマに対するtransfalcine approach

氏福健太、梅野哲也、出端亜由美、吉田光一、鎌田健作、森川 実、安倍邦子、松尾孝之

日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

両側前頭葉高悪性度グリオーマに対するtransfalcine approach

氏福健太、梅野哲也、馬場史郎、吉田光一、鎌田健作、森川 実、安倍邦子、松尾孝之  
第34回日本脳腫瘍学会学術集会（2016.12.5、甲府市）

悪性神経膠腫患者の深部静脈血栓症対策

氏福健太

長崎脳腫瘍研究会2016（2016.2.12、長崎市）

Risk of verbal function after resective surgery in children with drug-resistant epilepsy.

Shiro Baba, Elizabeth N. Kerr, Osama Muthaffar, Kei Karakida, Ryosuke Kitatani, Ayako Ochi,  
Cristina Y. Go, Elysa Widjaja, James M. Drake, James T. Rutka, Elizabeth J. Donner, O. Carter Snead  
III, Hiroshi Otsubo

The 70<sup>th</sup> American Epilepsy Society Annual Meeting（2016.12.2-6, Houston, Texas, USA.）

The Hospital for Sick Childrenでのてんかん外科治療

馬場史郎

第37回長崎てんかん研究会（2016.11.24、長崎市）

椎骨動脈圧迫による二次性高血圧の1例

郡家克旭

第30回長崎脳神経疾患治療研究会（2016.5.23、長崎市）

汎下垂体機能低下症で発症した視床下部病変の一例

郡家克旭

第31回長崎脳神経疾患治療研究会（2016.10.31、長崎市）

von Willebrand 病に併発した帽状腱膜下血腫の1例

定方英作、諸藤陽一、出端亜由美、吉田光一、角田圭司、松尾孝之

第122回日本脳神経外科学会九州支部会（2016.3.12、福岡市）

特発性頸髄硬膜外血腫の臨床像

定方英作、角田圭司、松尾孝之

第41回日本脳卒中学会総会（2016.4.14-16、札幌市）

VP shunt revision 時に腹腔鏡が有用であった3例

定方英作、吉田光一、角田圭司、松尾孝之

第44回日本小児神経外科学会（2016.6.23-24、つくば市）

急性期脳梗塞に対する血管内治療後のArterial Spin Labeling(ASL)高信号の意義  
定方英作、堀江信貴、諸藤陽一、立石洋平、出雲 剛、辻野 彰、森川 実、松尾孝之  
日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

脳梗塞急性期に頭蓋内ステント留置術を施行した2例  
定方英作、堀江信貴、諸藤陽一、立石洋平、出雲 剛、辻野 彰、松尾孝之  
第24回日本脳神経血管内治療学会九州地方会 (2016.10.8、福岡市)

Endovascular treatment for acute basilar artery occlusion  
Eisaku Sadakata, Nobutaka Horie, Yoichi Morofuji, Tsuyoshi Izumo, Takayuki Matsuo  
13th International Symposium on Thrombolysis Thrombectomy and Acute Stroke Therapy,  
(2016.10.30-11.1、神戸市)

急性期脳梗塞に対する血管内治療後のArterial Spin Labeling(ASL)高信号の意義  
定方英作、堀江信貴、諸藤陽一、立石洋平、出雲 剛、辻野 彰、森川 実、松尾孝之  
第59回日本脳循環代謝学会学術集会 (2016.11.11-12、徳島市)

急性期脳梗塞に対する血管内治療後のArterial Spin Labeling(ASL)高信号の意義  
定方英作、堀江信貴、諸藤陽一、立石洋平、出雲 剛、辻野 彰、森川 実、松尾孝之  
第32回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2016.11.24-26、神戸市)

急性期脳底動脈流に対する再開通療法の検討  
定方英作  
第1回長崎脳血管内治療研究会 (2016.6.3、長崎市)

頭部MRIによる感染症心内膜炎の早期診断  
藤本隆史  
日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

Eary Diagnosis of Infective Endocarditis by Brain MRI  
Takashi Fujimoto  
10th World Stroke Congress (2016.10.26-30, Hyderabad, India)

難治性高血圧における新たな術前評価  
藤本隆史  
第32回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2016.11.24-26、神戸市)

画像上著名な石灰化現象を呈した胸髄膜腫の2例

大園恵介

第123回日本脳神経外科学会九州支部会 (2016.6.11、久留米市)

Open surgery following transarterial embolization for cavernous sinus dural arteriovenous fistula

Keisuke Ozono

The 13th JKJC on Surgery for Cerebral Stroke (2016.9.22-24, Busan, Korea)

直達手術により海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻根治が得られた一例

大園恵介

第124回日本脳神経外科学会九州支部会 (2016.10.22、大分市)

やっぱり柔らかいのが好き・・・

大園恵介

第27回脊髄疾患動画技術研究会 (2016.11.27、大津市)

(10) 研究助成金による研究

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
松尾孝之・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	希少がん領域の標準治療を開発する研究 (26273101) 予後不良の神経膠腫に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした他施設共同研究
松尾孝之・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 脳梗塞に対する幹細胞療法のシナプス増生のメカニズムの解明 (代表: 日宇 健)
出雲 剛・講師	長崎県医師会	代表	平成27年度長崎県医師会医学研究助成金 In vitro がん脳転移評価モデルの臨床応用
出雲 剛・講師	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 高血糖による血液脳関門障害におけるペリサイトの役割 (代表: 林 健太郎)

堀江信貴・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 脳梗塞治療効果の飛躍的向上への戦略～急性期薬物治療と幹細胞移植の融合～
堀江信貴・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 脳梗塞に対する幹細胞療法のシナプス増生のメカニズムの解明（代表: 日宇 健）
諸藤陽一・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 脳虚血時における血液脳関門の破綻及び修復機序の解明
諸藤陽一・助教	日本学術振興会	代表	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化） 脳虚血時における血液脳関門の破綻及び修復機序の解明（国際共同研究強化）
諸藤陽一・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 高血糖による血液脳関門障害におけるペリサイトの役割（代表: 林 健太郎）

## (11) 社会活動

氏名・職	委員会等名
松尾孝之・教授	日本脳神経外科学会（代議員、専門医試験委員、評議委員、用語委員、医療安全管理委員） 日本脳神経外科学会九州支部会（理事） 日本頭蓋底外科学会（理事） 日本定位放射線治療学会（理事） 日本神経内視鏡学会（運営委員） 日本脳腫瘍の外科学会（理事） 日本間脳下垂体腫瘍学会（理事） 日本脳卒中学会（代議員） 長崎下垂体研究会（世話人） 長崎DDS研究会（世話人） 長崎障害者支援再生医療研究会（世話人） 長崎県脳卒中検討委員会（運営委員） 長崎県移植医療推進協議会（協議会委員） 長崎地区脳卒中センター等会議（運営委員） 長崎回復期リハビリテーション連絡協議会（世話人） ※2017.12.1現在
角田圭司・講師	Craniostylosis研究会（世話人） 九州山口ニューロスパイン研究会（世話人） 日本脊髄外科学会（代議員） 日本脊髄外科学会機関誌（Reviewer Board） 脊髄疾患動画技術研究会（世話人）
出雲 剛・講師	日本脳卒中協会長崎支部（副支部長） 日本脳卒中の外科学会（代議員） 長崎労働局（地方労災委員） Austin Journal of Neurosurgery（Editorial Board） International Journal of Surgery and Surgical Procedures（Editorial Board） Medical Research Archives（Reviewer Board） Journal of Neurosurgical Sciences（Reviewer Board） 日本脳神経外科救急学会（評議員） 日本脳神経外科救急学会（若手アカデミア委員）
鎌田健作・講師	長崎県損害保険料率算出機構（顧問医） 長崎市医師会看護専門学校（非常勤講師）

堀江信貴・助教	脳梗塞に対する幹細胞治療ガイドラインワーキンググループ（作成委員） 長崎県（長崎障害者支援再生医療研究会実務） 日本脳循環代謝学会（評議員） 日本脳卒中学会（評議員（査読委員兼任による推薦）） 日本脳神経血管内治療学会九州地方会（世話人幹事） Neurologia-medico-chirurgica (review board member) Journal of Biomedicine and Biotechnology (Editorial Board Member in Neurology) Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases (Review Board Member) Journal Neurosurgical Science (Review Board Member) J Neurological Disorders & Stroke (Editorial Board Member) Journal of Radiology & Radiation therapy (Editorial Board Member) Edorium Journal of Neurosurgery (Editorial Board Member) Austin Journal of neurosurgery (Editorial Board Member) Austin Journal of Cerebrovascular Disease & Stroke (Editorial Board Member)
吉田光一・助教	長崎市医師会看護専門学校（非常勤講師）
諸藤陽一・助教	長崎県移殖情報担当者（委託）
氏福健太・助教	長崎市医師会看護専門学校（非常勤講師）

(12) その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
松尾孝之・教授	総説ビデオ	VIDEO JOURNAL of Japan Neurosurgery Vol.24 No.1 No.93	2016年5月	神経内視鏡による頭蓋底手術頭蓋咽頭腫
松尾孝之・教授	メディカル長崎	FM長崎	2016.10.28	脳腫瘍
出雲 剛・講師	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジン」	KTN テレビ長崎	2016.2.5	「脳卒中」脳卒中って、どんな病気
出雲 剛・講師	長崎県の健康情報番組「週刊健康マガジン」	KTN テレビ長崎	2016.2.19	「脳卒中」予防できる脳梗塞

## 長崎労災病院

(〒857-0134 佐世保市瀬戸越2-12-5 部長 北川直毅)

(1) 医師数	4 (専門医 4)	
	北川直毅、川原一郎、広瀬 誠、豊田啓介	
(2) 病床数	47	
(3) 入院症例数	629	
(4) 手術症例数	177	
brain tumor	.....	17
	glioma	2
	meningioma	7
	metastatic	4
	biopsy	4 (GBM 2, ML 1, unknown 1)
ruptured aneurysm (craniotomy)	.....	11
	IC-PC	2
	MCA	4
	Acom	3
	BA-SCA	2
Unruptured aneurysm	.....	18
	IC-PC	4
	MCA	11
	Acom	2
	Multiple 1 (MCA + Acom)	1
Dural AVF	.....	1
Hypertensive ICH	.....	14
	Craniotomy	10
	Stereo	4
ICA stenosis (carotid endarterectomy)	.....	15
EC-IC bypass	.....	2
Head trauma	.....	64
	Acute epidural hematoma	1
	Acute subdural hematoma	7
	Chronic subdural hematoma	56
V-P shunt	.....	20

Ventricle drainage	1
External decompression	3
Cranioplasty	4
MVD	4
Others	3

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 24

aneurysm	12 (SAH 6)
intra-aneurysmal	7
stent & coil	4
trapping	1
dural AVF	3
ICA stenosis(CAS)	3
Stent & Penumbra	5
Tumor	1

(7) 剖検数 0

(8) 論文

アクティーマNRを活用した急性期脳卒中患者のADL向上への取り組み～車いすを使わない病棟生活をめざして

本竹由香里、前田智子、久保田智博、梶川大輔、塚本倫央、平山大輔、福丸由美子、川原一郎

Brain Nursing, 32, 72-75, 2016

舌骨に関連した頸部内頸動脈狭窄症について-舌骨は急性脳血管症候群の危険因子となり得るか?-

川原一郎、大園恵介、藤本隆史、広瀬 誠

脳神経外科 44; 835-841, 2016

(9) 学会発表

専門医のいない離島地域における、脳卒中初期診療（ISLS）コースの効果に関して。

北川直毅、日宇 健、堤 圭介、高山隼人、村瀬邦彦、八坂貴宏

第41回日本脳卒中学会総会（2016.4.15、札幌市）

再発を繰り返す巨大血栓化脳底動脈先端部動脈瘤

北川直毅

第4回五島列島脳血管カンファランス（2016.4.23、平戸市）

第17回脳神経血管内治療セミナー（2016.6.26、沖縄）

ステント併用動脈瘤コイル塞栓術の最近経験した3例

北川直毅

第59回佐世保脳神経外科医会（2016.7.29、川棚市）

最新の脳卒中診療

北川直毅

第8回長崎労災病院地域医療機関懇談会（2016.6.2、佐世保市）

抗血栓薬の臨床

北川直毅

佐世保市薬剤師会学術講演会（2016.11.8、佐世保市）

長崎労災病院における脳卒中治療の実際

北川直毅

佐世保市歯科医師会勉強会（2016.11.29、佐世保市）

脳卒中と糖尿病

北川直毅

第1回瀬戸越脳卒中懇話会（2016.12.3、佐世保市）

急性期血栓回収療法に関して

北川直毅

第2回佐世保市・平戸市・松浦市消防局との合同懇話会（2016.12.15、佐世保市）

舌骨に関連した頸部内頸動脈狭窄症について

川原一郎、大園恵介、藤本隆史、広瀬 誠

第39回日本脳神経CI学会総会（2016.1.29-30、東京都）

高アンモニア血症が原因と考えられる両側頭皮質病変を認めた1例  
大園恵介、藤本隆史、広瀬 誠、川原一郎  
第124回県北神経懇話会（2016.3.1、川棚市）

舌骨に関する頸部内頸動脈狭窄症について  
川原一郎、大園恵介、藤本隆史、広瀬 誠、豊田啓介、北川直毅  
第45回日本脳卒中外科学会学術集会（2016.4.14-16、札幌市）

開頭血腫除去術後に生じた前頭蓋窩硬膜動静脈瘻の1例  
川原一郎  
第56回佐世保脳神経外科医会（2016.4.22、佐世保市）

舌骨に関連した頸部内頸動脈狭窄症について  
川原一郎  
第3回日本心血管脳卒中学術集会（2016.6.17-18、東京都）

異常過形成前脈絡叢動脈瘤破裂によるSAHの1例  
広瀬 誠、大園恵介、藤本隆史、川原一郎  
第122回日本脳神経外科学会九州支部会（2016.3.12、福岡市）

重複中大脳動脈に関連した脳動脈瘤の2例  
広瀬 誠、豊田啓介、川原一郎、北川直毅  
第125回県北神経懇話会（2016.6.21）

重複中大脳動脈に関連した脳動脈瘤の2例  
広瀬 誠、豊田啓介、川原一郎、北川直毅  
第124回日本脳神経外科学会九州支部会（2016.10.22、由布市）

直達手術で良好な経過をたどったクモ膜下出血発症小脳テント部硬膜動静脈瘻の1例  
広瀬 誠、豊田啓介、川原一郎、北川直毅  
第60回佐世保脳神経外科医会（2016.11.2、佐世保市）

当院での頸動脈狭窄症に対する外科的治療の現状  
広瀬 誠、豊田啓介、川原一郎、北川直毅  
第34回長崎脳神経外科研究会（2016.12.3、長崎市）

末梢神経疾患によるしびれ  
豊田啓介  
日本脳卒中協会長崎支部市民公開講座（2016.5.28、長崎市）

頸椎前方除圧後の早期肩部痛に関する検討

豊田啓介

第31回日本脊髄外科学会（2016.6.9、東京）

頸椎前方除圧固定術後早期の頸肩部痛に関する検討

豊田啓介

日本脳神経外科学会第75回学術総会（2016.9.29-10.1、福岡市）

心原性脳塞栓症による右片麻痺を呈した症例に対する筋電図解析を利用した有効な治療プログラムを検討して

梶川大輔、菅原 剛、平山大輔、久保田智博、塚本倫央、久保宏記、川原一郎

第19回日本臨床脳神経外科学会（2016.7.23-24、熊谷市）

「復職をあきらめない急性期から復職に向けた介入の一例

～早期から復職意識を共有する重要性～」

久保田智博、加藤友里夏、塚本倫央、本村由香里、川原一郎

第50回日本作業療法士学会（2016.9.9-11、札幌市）

脳卒中重度片麻痺患者に対するカーボン片側支柱式骨盤帯付膝装具の使用経験

平山大輔、平山翔悟、加藤友里夏、梶川大輔、島崎功一、久保宏記、

本竹由香里、二宮 誠、川原一郎

第32回日本義肢装具学会学術集会（2016.10.15-16、札幌市）

長崎労災病院脳神経外科における医師事務作業補助者としての業務報告

古川依里、立石由美、森 千鶴、大園恵介、藤本隆史、広瀬 誠、川原一郎

第19回日本臨床脳神経外科学会（2016.7.23-24、熊谷市）

## （10）社会活動

北川直毅 労災診療指導委員会（委員）

## 佐世保市立総合医療センター

(〒857-8511 佐世保市平瀬町9-3 部長 岩永充人)

(1) 医師数 5 (専門医 4)

岩永充人、白川 靖、林 健太郎、林 之茂、松永裕希

(2) 病床数 25

(3) 入院症例数 537

(4) 手術症例数 150

脳腫瘍	27
開頭摘出術	19
生検術	4
開頭術	1
定位手術	3
経蝶形骨洞手術	4
脳血管障害	42
クリッピング	18
破裂動脈瘤	12
未破裂動脈瘤	6
頸動脈内膜剥離術	7
バイパス術	1
高血圧性脳内出血	11
開頭血腫除去	4
内視鏡	2
定位手術	1
脳室ドレナージ	4
減圧開頭術	5
外傷	46
急性硬膜外血腫	2
急性硬膜下血腫	4
慢性硬膜下血腫	39
減圧開頭術	1
水頭症	17
脳室シャント術	13
脳室ドレナージ術	4

先天奇形	1
キアリ奇形	1
脊椎・脊髄	4
腫瘍摘出	3
椎弓形成術	1
その他	13
頭蓋形成術、髄液瘻閉鎖術、腫瘍内出血ドレナージ術等	13
(5) 定位的放射線治療症例数	23
腫瘍	21
転移性脳腫瘍	18
SRS	17
SRT	1
髄膜腫	2
SRS	1
SRT	1
聴神経鞘腫	1
SRT	1
脳動静脈奇形	2
SRS	2
(6) 血管内手術症例数	52
脳動脈瘤塞栓術	23
破裂動脈瘤	13
未破裂動脈瘤	10
硬膜動静脈瘻	2
経静脈的塞栓術	2
閉塞性脳血管障害	26
血栓回収療法	15
ステント留置術	11
外傷性動脈瘤	1
(7) 剖検数	0

(8) 論文

「脳血管攣縮に対する治療，その他の全身管理」

林 健太郎

『脳出血・くも膜下出血診療読本』中外医学社（東京）：pp.368-374, 2016

「頸動脈を取り巻く解剖の基本と応用：CEAの立場から解剖の基本と破格について」

林 健太郎

『パーフェクトマスター頸動脈狭窄』メジカルビュー社（東京）、2016

右側大動脈弓における脳血管造影の注意点に関する症例報告と文献的考察

林 健太郎、林 之茂、松尾義孝、白川 靖、上之郷眞木雄

脳神経外科速報 26:982-989, 2016

椎骨動脈狭窄によるProgressing strokeに対してバルーン血管形成術が有効であった1例

林 健太郎、松尾義孝、林 之茂、白川 靖、上之郷眞木雄

No Shikei Geka 44:383-389, 2016

(9) 学会発表

feeder分岐部遠位のparent arteryに脳動脈瘤を合併した脳動静脈奇形の一例

岩永充人、福田修志、越智 章

第45回日本脳卒中の外科学会学術総会（2016.4.14-16、札幌市）

脳卒中の急性期治療

岩永充人

佐世保市青年薬剤師会学術講演会2016（2016.9.2、佐世保市）

迅速な脳卒中受け入れ態勢をめざしてー脳卒中ホットライン導入後1年経過してー

岩永充人、松永裕希、林 之茂、林 健太郎、白川 靖

日本脳神経外科学会第75回学術総会（2016.9.29-10.1、福岡市）

頸部頸動脈と中大脳動脈の急性閉塞に急性期血栓回収術を施行した3例

岩永充人、松永裕希、林 之茂、白川 靖、林 健太郎

第32回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2016.11.24-26、神戸市）

Noonan症候群に合併した脳腫瘍の一例

白川 靖、松永裕希、林 之茂、林 健太郎、岩永充人  
第60回佐世保脳神経外科医会（2016.11.2、佐世保市）

右側大動脈弓における脳血管造影の注意点

林 健太郎、林 之茂、松尾義孝、白川 靖、上之郷眞木雄  
第23回日本脳神経血管内治療学会九州地方会（2016.1.16、福岡市）

急性期脳梗塞に対する再開通療法の過去と現在

林 健太郎、林 之茂、松尾義孝、白川 靖、上之郷眞木雄、諸藤陽一、堀江信貴、  
出雲 剛、松尾孝之  
第21回日本脳神経外科救急学会（2016.1.29-30、東京）

急性期脳梗塞に対する再開通療法の体制と成績の変遷

林 健太郎、林 之茂、松尾義孝、白川 靖、上之郷眞木雄、諸藤陽一、堀江信貴、  
出雲 剛、松尾孝之  
第41回日本脳卒中学会総会（2016.4.14-16、札幌市）

上顎洞部外傷性動脈瘤の1例

林 健太郎、林 之茂、松尾義孝、白川 靖、上之郷眞木雄  
九州血管内治療勉強会（2016.4.23、福岡）

脳卒中急性期に大動脈解離をいかに早急に鑑別するか

林 健太郎、松永裕希、林 之茂、白川 靖、岩永充人  
第3回日本心血管脳卒中学会（2016.6.17-18、東京）

コイル塞栓術後に不幸な転帰を迎ったくも膜下出血の1例

林 健太郎、松永裕希、林 之茂、白川 靖、岩永充人  
第52回近畿脳神経血管内治療手術法ワークショップ（2016.7.16-17、和歌山県紀伊田辺市）

脳虚血超急性期に対する再開通療法の進歩と課題

林 健太郎、松永裕希、林 之茂、白川 靖、岩永充人  
日本脳神経外科学会第75回学術総会（2016.9.29-10.1、福岡市）

Microscopical observation of embolus protection filter on carotid artery stenting and etiology of the ischemic complication

Hayashi K, Matsunaga Y, Hayashi Y, Shirakawa K, Iwanaga M  
The 13<sup>th</sup> Japanese-Korean Joint Conference on Surgery for Cerebral Stroke  
（2016.9.22-24、釜山 韓国）

頸動脈ステント留置術膜型フィルターと新型網型フィルターの比較

林 健太郎、松永裕希、林 之茂、白川 靖、岩永充人

第32回日本脳神経血管内治療学会総会（2016.11.24-25、神戸市）

頸動脈狭窄の外科的治療と課題

林 健太郎

Thrombosis Update in SASEBO（2016.10.24、佐世保市）

急性期脳梗塞に対する再開通療法の過去と現在

林 健太郎

エリキュース発売3周年記念学術講演会 in 佐世保（2016.4.28、佐世保市）

脳死下臓器提供の経験

林 之茂

臓器移植ネットワーク院内講演会（2016.1.20、佐世保市）

多発性小脳腫瘍の一例

林 之茂、林 健太郎、松永裕希、白川 靖、岩永充人

第59回佐世保脳神経外科医会（2016.4.22、佐世保市）

転移性脳腫瘍治療の進歩について

林 之茂、林 健太郎、松永裕希、白川 靖、岩永充人

院内健康教室（2016.6.15、佐世保市）

短期間に2度の皮質下出血を来した1例

松永裕希、山口 将、陶山一彦

第29回長崎脳神経疾患治療研究会（2016.1.18、長崎市）

後頭蓋窩嚢胞を伴う小児水頭症の一例

松永裕希、林 之茂、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

佐世保脳外科医会（2016.7.29、佐世保市）

In-stent thrombosis following carotid artery stenting for radiation-induced carotid stenosis:  
significance of platelet aggregability analysis

Yuki Matsunaga, Kentaro Hayashi, Yoichi Morofuji, Yukishige Hayashi, Kiyoshi Shirakawa,  
Mitsuto Iwanaga.

The 13th Japan-Korea Joint Conference on Surgery for Cerebral Stroke  
（2016.9.22-24、釜山 韓国）

Cerebral microbleedsを認めず短期間で頻回の脳皮質下出血が繰り返したCerebral amyloid angiopathyの一例

松永裕希、山口 将、陶山一彦、林 之茂、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

日本脳神経外科学会第75回学術総会（2016.9.29-10.1、福岡市）

極短期間で形態変化を示しBlood blister-like aneurysmに類似する病態と考えられた椎骨動脈解離の一例

松永裕希、林 之茂、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

第24回日本脳神経外科血管内治療学会九州地方会（2016.10.8、福岡市）

Radiation induced carotid stenosis に対し頸動脈ステント留置術を行い、亜急性期閉塞を起こした1例

松永裕希、前田 肇、林 之茂、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

第32回日本脳神経血管内治療学会学術総会（2016.11.24-26、神戸市）

低出生体重児脳室内出血に伴う水頭症管理の検討

松永裕希、林 之茂、林 健太郎、白川 靖、岩永充人

第34回長崎脳神経外科研究会（2016.12.3、長崎市）

#### (10) 研究助成金

平成26-28年度日本学術振興会科学研究補助金基盤研究（C）

「高血糖による血液脳関門障害におけるペリサイトの役割」

研究代表者 林 健太郎

(11) 社会活動

岩永充人	長崎県脳卒中検討委員会（委員） 長崎県移植医療推進協議会（委員）
白川 靖	長崎県立佐世保看護学校（非常勤講師） 佐世保市小値賀町介護認定審査会（委員）
林 健太郎	日本脳神経外科学会機関誌Neurologia Medico-Chirurgica（査読委員） 日本脳神経血管内治療学機関誌JNET（査読委員） 日本脳神経血管内治療学会九州地方会（世話人） 日本心血管脳卒中学会（評議員） 佐世保市立看護学校（非常勤講師）
林 之茂	佐世保市立看護学校（非常勤講師）



Central neurocytoma	.....	1
Acoustic neurinoma	.....	1
頭部外傷	.....	101
急性硬膜下血腫	.....	19
急性硬膜外血腫	.....	1
脳挫傷/脳内血腫	.....	8
慢性硬膜下血腫	.....	73
てんかん	.....	67
前側頭葉切除	.....	1
側頭葉切除	.....	12
焦点切除	.....	13
大脳半球離断	.....	1
脳梁離断	.....	14
硬膜下電極植え込み	.....	9
迷走神経刺激電極植え込み	.....	17
水頭症	.....	45
VP-Shunt	.....	24
LP-shunt	.....	12
シャント抜去/延長	.....	9
硬膜下水腫	.....	2
SP-shunt	.....	2
脊髄・脊椎	.....	3
脊椎披裂	.....	1
髄液漏閉鎖	.....	1
キアリ	.....	1
感染	.....	11
外減圧	.....	10
頭蓋形成	.....	14
脳室ドレナージ	.....	14
その他	.....	9

(B) 脳血管内治療 40

脳動脈瘤コイル塞栓術	.....	10
	破裂 (9)	未破裂 (1)
IC	6 ( 5	1 )
ACom	2 ( 2	0 )
VA	1 ( 1	0 )
BA	1 ( 1	0 )
AVM塞栓術	.....	3

Dural AVF .....	7
CAS .....	3
エリル動注 .....	2
血栓回収 .....	13
TAE (腫瘍) .....	2

(5) 論文

Enhanced phasic GABA inhibition during the repair phase of stroke: a novel therapeutic target.

Hiu T, Farzampour Z, Paz JT, Wang EH, Badgely C, Olson A, Micheva KD, Wang G, Lemmens R, Tran KV, Nishiyama Y, Liang X, Hamilton SA, O'Rourke N, Smith SJ, Huguenard JR, Bliss TM, Steinberg GK.

Brain. 2016 Feb;139(Pt 2):468-80.

West症候群に対する脳梁離断術と切除外科手術を用いた多段階外科治療：発作と発達に対する効果

小野智憲、馬場啓至、戸田啓介、本田涼子

小児の脳神経 40(5):392-389, 2016

半球間裂から後頭蓋窩へ連続する急性硬膜下血腫を主要画像所見として発症した、破裂内頸動脈-後交通動脈分岐部動脈瘤の1例

大塚寛朗、福田雄高、吉村正太、杣川知香、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

No Sinkei Geka 44 (6) : 517-524, 2016

遠隔地発症脳梗塞への急性期血行再建 Teleradiologyと複数ヘリ搬送系によるdrip/ship/retrieve法の経験(会議録)

日宇 健、福田雄高、中道親昭、岩永 洋、日宇宏之、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、高山隼人、堤 圭介

Neurosurgical Emergency 20 (3): 415, 2016

(6) 学会発表

超高齢化社会を迎えた長崎県離島地域における脳卒中医療 ―本土基幹施設を介した急性期診療の現状と課題―

福田雄高、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第41回日本脳卒中学会総会(2016.4.14-16、札幌市)

パラソルハンガーによる鼻孔からの穿通性脳幹損傷の一例

佐藤 慧、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第123回日本脳神経外科学会九州支部会（2016.6.11、久留米市）

Azygos anterior cerebral artery近位分枝のinfundibular dilation部に新生した破裂微小脳動脈瘤

吉村正太、柚川知香、福田雄高、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第122回日本脳神経外科学会九州支部会（2016.3.12、福岡市）

特異な臨床経過をたどったくも膜下出血の1例

柚川知香、竹中悠輔、吉村正太、福田雄高、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第29回長崎脳神経疾患治療研究会（2016.1.18、長崎市）

長崎医療センターにおける脳梁離断術の長期予後

戸田啓介、馬場啓至、小野智憲、本田涼子

第39回日本てんかん外科学会（2016.1.22、仙台市）

長崎医療センターにおける迷走神経刺激療法の適応と予後

戸田啓介、小野智憲、本田涼子、馬場啓至

第24回九州・山口機能神経外科セミナー（2016.8.20、柳川市）

長崎医療センターにおける迷走神経刺激療法の実際

戸田啓介、小野智憲、本田涼子、馬場啓至

第50回日本てんかん学会学術集会（2016.10.7、静岡市）

側頭葉てんかんの一手術例より発作時言語症状を考察する

戸田啓介、小野智憲、本田涼子、馬場啓至、伊東正博、黒濱大和

第37回長崎てんかん研究会（2016.11.24、長崎市）

AES/ILAE Translational Task Force Task 3 Preclinical CDEs for Epilepsy Research: Rodent EEG CDEs/CRF.

Ono T.

American Epilepsy Society 69th Annual Meeting, Houston, TX, USA（2016.12.3-6）

CDEs and CRF of preclinical reseaches (EEG).

Ono T.

AES/ILAE Translational Task Force Meeting, Prague, Czech.（2016.9.8）

正確で安全な脳梁離断術: keep on the midline track. 【シンポジウム】

小野智憲、馬場啓至、戸田啓介

第39回日本てんかん外科学会 (2016.1.21-22、仙台市)

てんかん外科とdeveloping brain 【特別講演】

小野智憲

第32回奈良小児てんかん研究会 (2016.2.25、奈良)

脳梁離断術後に残存したsubtle partial seizuresと一側後方皮質の持続性てんかん放電.

小野智憲、本田涼子、小出憲呼、馬場啓至、戸田啓介

第23回九州山口てんかん外科学研究会 (2016.3.5、福岡市)

Subway map of Epileptogenicity 【教育講演】

小野智憲

第23回九州山口てんかん外科学研究会 (2016.3.5、福岡市)

生後より嘔吐発作を繰り返したLhermitte-Duclos diseaseの一例

袖川知香、小野智憲、本田涼子、馬場啓至、福田雄高、日宇 健、牛島隆二郎、戸田啓介、  
堤 圭介

第100回日本脳神経外科学会九州支部会 (2016.3.12、福岡市)

生後より嘔吐発作を繰り返したLhermitte-Duclos diseaseの一例

袖川知香、本田涼子、小野智憲、小出憲呼、安 忠輝、田中茂樹、馬場啓至

第58回日本小児神経学会学術集会 (2016.6.3-5、東京)

一側後方皮質の異常によるてんかん性脳症

小野智憲、本田涼子、戸田啓介、馬場啓至

第11回てんかん学会九州地方会 (2016.7.9、福岡)

内側側頭葉腫瘍の手術

小野智憲、戸田啓介、佐藤 慧、日宇 健、牛島隆二郎、堤 圭介

第31回長崎脳神経疾患治療研究会 (2016.10.31 長崎市)

脳疾患急性期における抗てんかん薬

小野智憲

第2回長崎脳神経外科フォーラム (2016.11.1、長崎市)

遠隔地発症脳梗塞への急性期血行再建 — Teleradiologyと複数ヘリ搬送系によるdrip/ship/retrieve法の経験

日宇 健、福田雄高、中道親昭、岩永 洋、日宇宏之、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、高山隼人、堤 圭介

第21回日本脳神経外科救急学会 (2016.1.29-30、東京)

長崎県離島救急医療支援システムの実績と地域医療連携への期待～脳神経外科医の立場から見た離島救急医療の最前線～【ランチョンセミナー】

日宇 健、高山隼人、堤 圭介

平成27年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議 (2016.1.27-29、長崎市)

Teleradiologyとヘリ搬送を活用したhub & spoke型networkの構築 -遠隔地発症例へのdrip/ship/retrieve法-

日宇 健、福田雄高、中道親昭、岩永 洋、日宇宏之、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第41回日本脳卒中学会総会 (2016.4.14-16、札幌市)

破裂前交通脳動脈瘤治療法選択の動向—長崎SAH研究会データベースにおける過去10年間の後方視的検討—

日宇 健、堤 圭介、佐藤 慧、出雲 剛、林 健太郎、北川直毅、笠 伸年、上之郷眞木雄、小野智憲、戸田啓介、永田 泉、松尾孝之

第一回長崎脳血管内治療研究会 (2016.6.3、長崎市)

遠隔地発症急性期脳梗塞に対する24時間体制下のヘリ搬送システムによるdrip/ship/retrieve法の最新事情と展望

日宇 健、佐藤 慧、中道親昭、岩永 洋、日宇宏之、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第32回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2016.11.24-26、神戸市)

Twig-like networkを伴う中大脳動脈主幹部 (M1) 形成不全 — 頭蓋内出血で発症する病態の多様性について — 【優秀ポスター賞】

日宇 健、松永裕希、福田雄高、平山航輔、吉村正太、柚川知香、佐藤 慧、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第59回日本脳循環代謝学会学術集会 (2016.11.11-12、徳島市)

24時間体制下のヘリ搬送システムによるdrip/ship/retrieve法の最新事情と展望

遠隔地で発症する急性期脳梗塞例を中心に

日宇 健、佐藤 慧、中道親昭、岩永 洋、日宇宏之、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

日本脳神経外科学会第75回学術総会（2016.9.29-10.1、福岡市）

最新の急性期脳梗塞治療－離島発症症例へのdrip/ship/retrieve法の可能性－

日宇 健、堤 圭介

五島中央病院オープンカンファレンス（2016.5、五島市）

NBCAを用いたTVEにて完治し得た横S状静脈洞部硬膜動静脈瘻の一例

日宇 健、佐藤 慧、堀江信貴、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第3回熊本脳脊髄血管機能解剖会（2016.12、熊本）

破裂脳動脈瘤に対するコイル塞栓術後にヘパリン起因性血小板減少症(HIT)を発症した1例

杣川知香、日宇 健、堀江信貴、佐藤 慧、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

九州脳血管内治療勉強会（2016.4、福岡）

破裂脳動脈瘤に対するコイル塞栓術後にヘパリン起因性血小板減少症(HIT)を発症しリバーロキサバンが奏功した一例

杣川知香、日宇 健、堀江信貴、佐藤 慧、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介

第24回日本脳血管内治療学会九州地方会（2016.10.8、福岡）

長崎医療センターにおけるてんかん外科【特別講演】

戸田啓介

第6回熊本てんかん基礎セミナー（2016.3.11、熊本市）

迷走神経刺激療法の実際【特別講演】

戸田啓介

第28回臨床神経生理研究会（2016.8.20-21、長崎市）

脳波の見方とてんかん外科【アフタヌーンセミナー（共催）】

戸田啓介

日本脳神経外科学会第75回学術総会（2016.9.30-10.1、福岡市）

てんかんをもっと知ろう～子供から大人まで～ てんかんにおける外科の役割【特別講演】

戸田啓介

てんかん市民公開講座（2016.11.6、長崎市）

てんかんの薬物治療と外科の役割【特別講演】

戸田啓介

脳と心と波の会～てんかん勉強会～（2016.11.11、武雄市）

（7）競争的研究費

てんかん脳におけるグリア細胞機能の発達プロファイリング：手術摘出標本を用いたグリア細胞と興奮性アミノ酸トランスポーター発現レベルの観察

てんかん治療研究振興財団（160万円）

小野智憲

（8）社会活動・資格・役員

日宇 健	活水大学看護学部（非常勤講師）
小野智憲	International League Against Epilepsy/American Epilepsy Society Translational Task Force (Task 3-EEG)(Chair) Epilepsia Open (Editorial Board)

## 長崎県島原病院

(〒855-0861 島原市下川尻町7895 院長 徳永能治)

- (1) 医師数 4 (専門医 3)  
徳永能治、松尾義孝、野田 満、平山航輔
- (2) 病床数 42
- (3) 入院症例数 326
- (4) 手術症例数 89
- |            |       |    |
|------------|-------|----|
| 脳腫瘍        | ..... | 5  |
| 摘出術 (髄膜腫)  | 3     |    |
| 経蝶形骨洞手術    | 2     |    |
| 脳血管障害      | ..... | 21 |
| クリッピング術    | ..... | 3  |
| 破裂         | 1     |    |
| 未破裂        | 1     |    |
| 動静脈奇形      | 1     |    |
| 脳動脈瘤塞栓術    | ..... | 5  |
| 動静脈奇形      | ..... | 1  |
| STA-MCA吻合術 | ..... | 1  |
| 開頭血腫除去     | ..... | 9  |
| 定位的脳内血腫除去  | ..... | 2  |
| 外傷         | ..... | 52 |
| 急性硬膜下血腫    | 3     |    |
| 慢性硬膜下血腫    | 49    |    |
| 水頭症        | ..... | 11 |
| VPシャント術    | 7     |    |
| 脳室ドレナージ術   | 3     |    |
| 外減圧術       | 1     |    |
- (5) 定位的放射線治療症例数 (転移性脳腫瘍) 11
- (6) 血管内手術症例数 9
- |       |       |   |
|-------|-------|---|
| 動脈瘤塞栓 | ..... | 5 |
| AVM   | ..... | 1 |

血栓回収 …………… 3

(7) 剖検数 0

(8) 論文

在宅リハビリテーション（訪問リハ・通所リハなど）へのソフトランディングな移行に向けてのモデル的な取り組みへの検討

徳永能治、山鹿真紀夫、太田利夫、石本淳也、井手 睦、鉾取新悟、榊原次郎、高柳公司、橋本茂樹、船越政範

日本リハビリテーション病院・施設協会誌:No.156、pp.28-31、2016年

(9) 学会発表

これからの島原の地域医療について

徳永能治

第61回島原リハネット症例検討会記念講演会（2016.4.28、島原市）

雲仙岳災害記念館がまだすドームPresents「みんなのキオク」

徳永能治

FMしまばらラジオ（2016.12.14、島原市）

高次脳機能障害の基礎知識～疾患の理解と支援について～

徳永能治

長崎県高次脳機能障害リハビリテーション講習会（2016.11.16、島原市）

中堅病院職員に期待するもの

徳永能治

長崎県病院企業団中堅職員研修（2016.11.28、長崎市）

連携施設講演：長崎県島原病院の紹介

徳永能治

第34回長崎脳神経外科研究会（2016.12.3、長崎市）

脳梗塞で発症した右前大脳動脈遠位部大型血栓化動脈瘤の一例

平山航輔、宗 剛平、野田 満、徳永能治

第122回日本脳神経外科学会九州支部会（2016.3.12、福岡市）

当院においてOnyxによる塞栓を行い、摘出に至った脳動静脈奇形の一例  
 平山航輔、野田 満、松尾義孝、徳永能治、堀江信貴、出雲 剛  
 第34回長崎脳神経外科研究会（2016.12.3、長崎市）

## (10) 社会活動

徳永能治	日本リハビリテーション病院施設協会（理事、医療・介護リハビリテーション対策委員長） 市域の包括的な医療に関する研究会（理事） 長崎県メディカルコントロール協議会（委員） ながさき治験医療ネットワーク委員会（委員） 長崎県国民保険診療報酬審査委員会（委員、専門部会委員） 長崎県ドクターヘリ運航調整委員会（委員） 長崎県脳卒中検討委員会（委員） 長崎県急性心筋梗塞検討委員会委員（委員） 日本医療マネジメント学会長崎支部（世話人） 島原市医師会看護学校（非常勤講師） FMしまばら：健やか相談室（相談員） 島原リハビリテーションネットワーク（世話人会長）
松尾義孝	島原市医師会看護学校（非常勤講師）
野田 満	島原市医師会看護学校（非常勤講師）
平山航輔	島原市医師会看護学校（非常勤講師）

## 済生会長崎病院

(〒850-0003 長崎市片淵2-5-1 部長 原口 渉)

(1) 医師数 2 (専門医 2)

原口 渉、宗 剛平

(2) 病床数 20～30

(3) 入院症例数 366

(4) 手術症例数 51

Ruptured aneurysm(craniotomy) .....	2
MCA	1
Distal ACA	1
Hypertensive ICH .....	4
Craniotomy	3
Stereo	1
Tumor .....	1
Meningioma	1
Head trauma .....	34
Acute subdural hematoma	4
Chronic subdural hematoma	30
V-P shunt .....	5
Ventricle drainage .....	2
External decompression .....	1
Others .....	2

(5) 定位の放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 15

Aneurysm .....	11 (SAH 7)
ICA stenosis .....	2
Thrombectomy .....	2
BA	2

(7) 剖検数 0

(8) 論文 0

(9) 学会発表

レンズ核線条体動脈領域のBADでのDWI画像変化と症状悪化に関わる因子の検討

原口 渉、北川直毅

第41回日本脳卒中学会総会 (2016.4.14-16、札幌市)

脳内出血が再発した症例

原口 渉、宗 剛平

第30回長崎脳神経疾患治療研究会 (2016.5.23、長崎市)

後天性第V因子インヒビターに伴う急性硬膜下血腫の一例

原口 渉、宗 剛平

第123回日本脳神経外科学会九州支部会 (2016.6.11、久留米市)

MEITHKE proGAV2.0の使用経験と工夫

原口 渉、宗 剛平、北川直毅

日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

当院における脳出血治療の実際

原口 渉

済生会長崎病院脳卒中地域連携症例検討会 (2016.10.14、長崎市)

脳卒中について－脳卒中診療と2次予防

原口 渉

長崎北公民館市民健康講座 (2016.10.15、長崎市)

当院におけるてんかん治療の実際 (イーケプラ使用症例について)

宗 剛平

大塚製薬社内勉強会 (2016.9.14、長崎市)

後頸部の疼痛と痺れを発症した1例

宗 剛平、原口 渉

第31回長崎脳神経疾患治療研究会 (2016.10.31、長崎市)

再発を繰り返す脳底動脈先端部瘤の1例  
宗 剛平、原口 渉、北川直毅、堀江信貴  
第34回長崎脳神経外科研究会（2016.12.3、長崎市）

（10）社会活動

第27回長崎ISLSコース  
済生会長崎病院（2016.3.20）

第30回長崎ISLSコース  
済生会長崎病院（2016.11.6）

## 長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター

(〒859-3615 東彼杵郡川棚町下組郷2005-1 部長 浦崎永一郎)

(1) 医師数	2 (専門医 2)	
	浦崎永一郎、石坂俊輔	
(2) 病床数	15～20	
(3) 入院症例数	224	
(4) 手術症例数	106	
脳・脊椎脊髄腫瘍摘出	.....	2
脳脊髄血管疾患	.....	13
脳動脈瘤クリッピング	6	
CEA	2	
EC-ICバイパス	2	
ICH除去	3	
脊椎疾患(変性/OPLL)	.....	35
頸椎	16	
胸椎	2	
腰椎	17	
外傷	.....	15
慢性硬膜下血腫	14	
脊椎骨折	1	
機能外科手術	.....	15
DBS-IPG植込み,交換	6	
頑痛症	0	
SCSトライアル/抜去	7	
SCS-IPG植込み,交換	2	
シヤント術	.....	4
V-P	1	
L-P	3	
末梢神経手術	.....	15
手根管症候群	11	
肘部管症候群	4	
その他	.....	7
脳室ドレナージなど		

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 論文

Nonconvulsive status epilepticus following implantation of subdural grid electrodes in a brain tumor patient (Letter to the editor)

Fujioka H, Urasaki E, Izumihara A, Yamashita K

Clin Neurophysiol 127; 975-976, 2016

広範囲DREZotomyを施行した脊髄損傷後疼痛の1例

浦崎永一郎、豊田啓介、藤岡裕士

機能的脳神経外科 55; 1-8, 2016

(9) 学会発表

脊髄刺激療法による内臓痛と難治性便秘症の改善例

藤岡裕士、浦崎永一郎、豊田啓介、福留隆泰、松尾秀徳

第55回日本定位・機能神経外科学会 (2016.1.23、宮城)

広範囲DREZotomyが奏功した脊髄損傷後疼痛の1例

浦崎永一郎、豊田啓介、藤岡裕士

第55回日本定位・機能神経外科学会 (2016.1.23、宮城)

Neuromodulationによる意識障害の改善：SCS, MCS, ITBの症例から

藤岡裕士、浦崎永一郎、豊田啓介、副島慶輝、泉原昭文、松尾秀徳、山下勝弘

第55回日本定位・機能神経外科学会 (2016.1.23、宮城)

GPI-DBSが無効で選択的末梢神経遮断術とボツリヌス毒素で治療した頸部ジストニアの1例

浦崎永一郎、豊田啓介、藤岡裕士、酒井和香、植村 優

第55回日本定位・機能神経外科学会 (2016.1.23、宮城)

GPi-DBSが無効で選択的末梢神経遮断術とボツリヌス毒素で治療した頸部ジストニアの1例

浦崎永一郎、豊田啓介、藤岡裕士、酒井和香、植村 優

第24回九州・山口機能神経外科セミナー（2016.8.21、福岡）

広範囲DREZotomyを施行した脊髄損傷後疼痛の1例

浦崎永一郎、豊田啓介、藤岡裕士

第24回九州・山口機能神経外科セミナー（2016.8.21、福岡）

脊髄刺激療法による内臓痛と難治性便秘症の改善例

藤岡裕士、浦崎永一郎、豊田啓介、福留隆泰、松尾秀徳

第124回県北神経懇話会（2016.3.1）

Scratch test陽性を示した手根管症候群の1例

浦崎永一郎、藤岡裕士、豊田啓介

第57回佐世保脳神経外科医会（2016.2.16）

車椅子状態から脱却したCRPS小児の1例

浦崎永一郎、石坂俊輔

第58回佐世保脳神経外科医会（2016.4.22）

高齢者の非外傷性円蓋部くも膜下出血

石坂俊輔、浦崎永一郎

第59回佐世保脳神経外科医会（2016.7.29）

脊髄刺激療法に工夫を要した高度脊椎変形に伴う頑痛症の1例

浦崎永一郎、石坂俊輔

第60回佐世保脳神経外科医会（2016.11.2）

パーキンソン病の外科治療

浦崎永一郎

平成28年度神経・筋難病看護エキスパートナース研修（2016.11.15）

スタンフォード大学留学報告

石坂俊輔

第34回長崎脳神経外科研究会（2016.12.3、長崎市）

# 十 善 会 病 院

(〒850-0905 長崎市籠町7-18 院長 笠 伸年)

(1) 医師数 2 (専門医 2)

笠 伸年、清水 正

(2) 病床数 39

(3) 入院症例数 569

(4) 手術症例数 117

brain tumor	6
meningioma	5
cavernous hemangioma	1
ruptured aneurysm (craniotomy)	12
ICA	2
ACA	1
MCA	3
Posterior circulation	4
Multiple	2
unruptured aneurysm (craniotomy)	7
ICA	4
MCA	2
ACA	1
AVM	1
Hypertensive ICH	4
STA-MCA anastomosis	6
CEA	7
Head trauma	49
Acute epidural hematoma	1
Acute subdural hematoma	3
Chronic subdural hematoma	45
Hemifacial spasm	1
V-P shunt	11
V-A shunt	3
others	10

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 学会発表

くも膜下出血で発症し、術後数年経過して再出血したDistal PICA動脈瘤の3例

清水 正、笠 伸年

第34回長崎脳神経外科研究会 (2016.12.3、長崎市)

(9) 社会活動

笠 伸年	長崎地区脳卒中センター等会議 (委員) 長崎救急医学会 (理事)
清水 正	高次脳機能障害支援連絡協議会 (委員)

## 長崎みなとメディカルセンター

(〒850-8555 長崎市新地町6-39 部長 陶山一彦)

(1) 医師数 3 (専門医 2)

陶山一彦、山口 将、伊木勇輔

(2) 病床数 26

(3) 入院症例数 405

(4) 手術症例数 202

meningioma	1
ruptured aneurysm	12
unruptured aneurysm	6
hypertensive ICH	34
craniotomy	20
endoscopic	2
stereotactic	3
drainage	9
CEA	8
STA-MCA bypass	1
MVD	1
trauma	80
ASDH	10
CSDH	70
shunting	31
decompressive craniectomy	6
cranioplasty	13
abscess	2
others	7

(5) 定位的放射線治療症例数 24

meningioma	1
meta	23

(6) 血管内手術症例数 26

coiling	2
CAS	3
thrombectomy	10
dural AVF	11

(7) 剖検数 0

(8) 論文

Point-by-point parent artery/sinus obliteration using detachable, pushable, 0.035-inch coils  
 Yamaguchi S, Horie N, Hayashi K, Fukuda S, Morofuji Y, Hiu T, Izumo T, Morikawa M, Matsuo T  
 Acta Neurochir (Wien) 158: 2089-2094, 2016

脳梗塞急性期にたこつぼ心筋症による心不全を合併した1症例

小寺厚志、山口 将、陶山一彦

ICUとCCU 40 (4): 299-303, 2016

手術終了から数時間後に急性冠症候群を発症した2症例

小寺厚志、陶山一彦、山口 将、諸岡 聡、飯岡 隆、南 一敏、中嶋 寛

ICUとCCU 40 (7):503-509, 2016

くも膜下出血(SAH)

陶山一彦

『透析患者診療に役立つ診断と重症度判定のためのアプローチ』: pp.85-86, 日本メディカルセンター (東京), 2016

(9) 学会発表

若年者のくも膜下出血に関する臨床的検討

陶山一彦、堤 圭介、徳永能治、上之郷眞木雄、松尾孝之

第41回日本脳卒中学会総会 (2016.4.15、札幌市)

出血をきたした未破裂脳動脈瘤の臨床的検討

陶山一彦、堤 圭介、徳永能治、上之郷眞木雄、松尾孝之

第45回日本脳卒中の外科学会 (2016.4.15、札幌市)

冠動脈病変を有する症例における頸動脈狭窄症の外科治療－冠動脈病変からみた治療法の選択と周術期管理－

陶山一彦、山口 将、伊木勇輔、佐藤 慧、松永裕希、竹下朝規

日本脳神経外科学会第75回学術総会（2016.9.29-10.1、福岡市）

Donor age drastically affects structural and functional recovery after cell therapy following ischemic stroke.

Yamaguchi S, Horie N, Satoh K, Ishikawa T, Mori T, Maeda H, Morofuji Y, Hiu T, Izumo T, Matsuo T

International Stroke Conference 2016, Los Angeles, Feb 2016

Intra-arterial cell transplantation therapy with bone marrow mesenchymal stem cell following ischemic stroke -Exploring optimal administration condition- 【symposium】

山口 将、堀江信貴、佐藤克也、石坂俊輔、福田雄高、石川岳志、森 剛志、諸藤陽一、日宇 健、出雲 剛、西田教之、松尾孝之

第41回日本脳卒中学会総会（2016.4.15、札幌市）

脳梗塞に対する間葉系幹細胞移植の効果はドナーの年齢に依存する～内在性神経幹細胞遊走の違い

山口 将、堀江信貴、佐藤克也、石川岳志、森 剛志、前田 肇、諸藤陽一、出雲 剛、西田教行、松尾孝之

日本脳神経外科学会第75回学術総会（2016.9.29-10.1、福岡市）

Intra-arterial cell transplantation therapy with bone marrow mesenchymal stem cell following ischemic stroke -Exploring optimal administration condition- 【symposium】

山口 将、堀江信貴、佐藤克也、石坂俊輔、福田雄高、石川岳志、森 剛志、諸藤陽一、日宇 健、出雲 剛、西田教之、松尾孝之

第59回日本脳循環代謝学会（2016.11.11、徳島市）

静脈瘤からの出血を繰り返した海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻の一例

山口 将、堀江信貴、伊木勇輔、陶山一彦

第35回長崎脳神経外科研究会（2016.12.3、長崎市）

短期間に頻回の皮質下出血を来したcerebral amyloid angiopathyの一例

松永裕希、山口 将、陶山一彦

第29回長崎脳神経疾患治療研究会（2016.1.18、長崎市）

左房内血栓による内頸動脈閉塞症に対して血栓回収術を行った一例

伊木勇輔、山口 将、陶山一彦

第30回長崎脳神経疾患治療研究会（2016.5.23、長崎市）

慢性硬膜下血腫に対する中硬膜動脈塞栓術の有用性

伊木勇輔、山口 将、陶山一彦

第31回長崎脳神経疾患治療研究会（2016.10.31、長崎市）

(10) 社会活動

陶山一彦	日本脳卒中学会（評議員） 日本脳循環代謝学会（評議員） International Society for CBF & Metabolism (Regular member) 長崎県国民健康保険団体連合会（審査委員）
------	---

## 恵美須町病院

(〒850-0056 長崎市恵美須町3-4 院長 柴山 了)

(1) 医師数 2 (専門医 2)

柴山 了、八木伸博

(2) 病床数 30 - 40

(3) 入院症例数 137

(4) 手術症例数 7

minor surgery

CSDH ..... 7

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 臓器提供 0

2017/3/31に閉院となりました。

## 宮崎病院

(〒854-0066 諫早市久山町1575-1 理事長 宮崎久彌)

(1) 医師数	4 (専門医 3)	
	宮崎久彌、他3名	
(2) 病床数	153	
(3) 入院症例数	1190	
(4) 手術症例数	183	
脳腫瘍	7	
	摘出術	6
	その他	1
脳血管障害	65	
	破裂動脈瘤	16
	未破裂動脈瘤	4
	頸動脈内膜剝離術	18
	バイパス術	2
	高血圧性脳内出血 (開頭血腫除去術)	17
	高血圧性脳内出血 (定位手術)	4
	その他	4
外傷	83	
	急性硬膜下血腫	2
	減圧開頭術	1
	慢性硬膜下血腫	80
水頭症	12	
	脳室シャント術	8
	その他	4
脊椎・脊髄	10	
	変性疾患 (変形性脊椎症)	7
	変性疾患 (椎間板ヘルニア)	1
	変性疾患 (後縦靭帯骨化症)	1
	その他	1
機能的手術	1	
	脳神経減圧術	1
その他	5	

- (5) 定位的放射線治療症例数 35
  
- (6) 血管内手術症例数 9
  - 血管内手術 ..... 9
    - 動脈瘤塞栓術（破裂動脈瘤） 3
    - 動脈瘤塞栓術（未破裂動脈瘤） 4
    - 動静脈奇形（脳） 2
    - （上記のうちステント使用例 3）
  
- (7) 剖検数 0
  
- (8) 社会活動

# 小波瀨病院

(〒800-0344 福岡県京都郡苅田町新津1598 部長 高橋治城)

(1) 医師数 2 (専門医 2)

高橋治城、奥永知宏

(2) 病床数 40

(3) 入院症例数 286

(4) 手術症例数 66

ruptured aneurysm	.....	3
ICA	2	
MCA	1	
unruptured aneurysm	.....	1
ICA	1	
hypertensive ICH	.....	6
craniotomy	5	
stereotactic	1	
CEA	.....	1
dAVF	.....	2
head trauma	.....	35
acute subdural hematoma	5	
chronic subdural hematoma	27	
acute epidural hematoma	2	
intracerebral hematoma	1	
ventricular drainage	.....	6
V-P shunt	.....	4
L-P shunt	.....	0
decompressive craniotomy	.....	1
cranioplasty	.....	2
microvascular decompression	.....	2
brain tumor	.....	3
craniotomy	2	
stereotactic	1	

(5) 定位の放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数	3
aneurysm .....	2
CAS .....	1

(7) 剖検数 0

(8) 学会発表

地方民間病院からの心停止下臓器提供

高橋治城

平成27年度第2回長崎県移植情報担当者協議会 (2016.3.4、長崎)

脳卒中後の栄養管理

高橋治城

第26回北部福岡NST研究会 (2016.3.18、北九州市)

入院後食欲不振患者の味覚検査と亜鉛栄養状態

高橋治城

第27回日本微量元素学会学術集会 (2016.7.30、京都)

高齢者の脳画像について

高橋治城

福岡県認知症医療センター月例勉強会 (2016.9.29、行橋市)

経腸栄養について

高橋治城

第8回研修医のための北九州地区臨床栄養セミナー (2016.10.8、北九州市)

膵島十二指腸切除後経腸栄養にて銅欠乏性貧血をきたした一例

高橋治城

第27回北部福岡NST研究会 (2016.10.29、北九州市)

右眼窩外側壁から発生した骨内髄膜腫の一例

奥永知宏、高橋治城

第34回長崎脳神経外科研究会 (2016.12.3、長崎市)

## 福岡青洲会病院

(〒811-2316 福岡県糟屋郡粕屋町長者原西4-11-8 部長 谷 政治)

(1) 医師数 2 (専門医 2)

谷 政治、皆川竜哉

(2) 病床数 約20

(3) 入院症例数 172

(4) 手術症例数 84

脳腫瘍	1
経蝶形骨洞手術	1
脳血管障害	52
破裂動脈瘤	7
未破裂動脈瘤	6
脳動静脈奇形	1
高血圧性脳内出血	開頭血腫除去術 12
	定位手術 1
その他	25
外傷	23
急性硬膜外血腫	2
急性硬膜下血腫	1
減圧開頭術	1
慢性硬膜下血腫	18
その他	1
水頭症	7
V-Pシャント術	7
その他	1
シャント抜去術	1

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 学会発表

くも膜下出血の初期診療

谷 政治

院内研修医講習会 (2016. 11. 24、福岡)

## 周南記念病院

(〒744-0033 山口県下松市生野屋南1-10-1 部長 本田 優)

(1) 医師数 2 (専門医 2)

本田 優、前田 肇

(2) 病床数 約40 (回復期病棟10前後)

(3) 入院症例数 387

(4) 手術症例数 103

brain tumor	.....	4
meningioma	1	
metastatic	2	
cavernoma	1	
ruptured aneurysm	.....	9
ICA	1	
MCA	3	
AcomA	2	
distal PICA	3	
unruptured aneurysm	.....	12
ICA	3	
MCA	8	
distal AC	1	
hypertensive ICH	.....	8
craniotomy	8	
AVM	.....	1
ICA stenosis (carotid endarterectomy)	.....	8
head trauma	.....	32
acute subdural hematoma	4	
chronic subdural hematoma	28	
hydrocephalus	.....	17
V-P shunt	8	
L-P shunt	2	
ventricular drainage	7	
subdural abscess (drainage)	.....	1
external decompression	.....	5

cranioplasty .....	1
others .....	5

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 5

infarction (PTR) .....	1
VA dissection (embolization) .....	1
distal PICA An .....	1
Intraaneurysmal embolization with stent .....	2

(7) 剖検数 0

(8) 論文

Seasonal Variation of Stroke in a small town of Japan

Honda M, Anda T

Acad J Microbiol Res. 4: 009-014, 2016

Ruptured Anterior Inferior Cerebellar Artery Aneurysm

Honda M, Anda T

Int J Neurol Neurother 2016, 3:039

(9) 学会発表

前下小脳動脈瘤の一例

本田 優、案田岳夫

第32回白馬脳神経外科セミナー (2016.1.14-16、長野)

小規模病院での移植医療への取り組みと現状

藤井裕子、本田 優、西村晶子、磯村亜規子、相本勝広

「山口県移植医療に関するワーキンググループ-第10回会議-」「平成27年度第2回山口県院内コーディネーター会議」(2016.2.13、山口市)

当院の臓器移植現状について

本田 優

第53回周南地区臨床カンファレンス (2016.3.5、下松市)

前下小脳動脈遠位部破裂脳動脈瘤の一例

本田 優、案田岳夫

第45回日本脳卒中の外科学会学術集会 (2016.4.15-17、札幌市)

最新の脳梗塞治療

前田 肇

第54回周南地区臨床カンファレンス (2016.6.3、下松市)

慢性硬膜下血腫；洗浄しないことを選択

本田 優、前田 肇

第125回山口県脳神経外科談話会 (2016.6.18、宇部市)

非外傷性椎骨動脈解離連続症例の検討

案田岳夫、本田 優

日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

慢性硬膜下血腫；洗浄しないことを選択

本田 優、前田 肇

日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

中大脳動脈近位部 (M1/M2) に狭窄を呈する脳虚血の転機

前田 肇、本田 優

第126回山口県脳神経外科談話会 (2016.11.5、宇部市)

中大脳動脈近位部 (M1/M2) に狭窄を呈する脳虚血の転機

前田 肇、本田 優

抗血栓療法を考える会 (2016.12.1、周南市)

めまいのはなし

前田 肇

第55回周南地区臨床カンファレンス (2016.12.2、下松市)

慢性硬膜下血腫の再発因子と洗浄の必要性の検討

本田 優、前田 肇

第34回長崎脳神経外科研究会 (2016.12.3、長崎市)

(10) 社会活動

本田 優	山口県指定（臓器移植院内コーディネーター、難病指定医、身体障害者福祉法指定医）
前田 肇	山口県指定（身体障害者福祉法指定医）

(11) 民間との共同研究

「脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板併用療法の有効性及び安全性の検討  
CSPS.com（Cilostazol Stroke Prevention Study .Combination）」

## 公立みつぎ総合病院

(〒722-0393 広島県尾道市御調町市124 院長 西村修平)

- (1) 医師数 3 (専門医 3)  
西村修平、出端亜由美、他1名
- (2) 病床数 40
- (3) 入院症例数 243
- (4) 手術症例数 45
- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 脳血管障害    | 10                   |
| 破裂動脈瘤    | 2                    |
| 高血圧性脳内出血 | 6 (開頭血腫除去術 5、定位手術 1) |
| その他      | 2                    |
| 外傷       | 20                   |
| 減圧開頭術    | 2                    |
| 慢性硬膜下血腫  | 17                   |
| その他      | 1                    |
| 水頭症      | 14                   |
| 脳室シャント術  | 4                    |
| その他      | 10                   |
| その他      | 1                    |
- (5) 定位的放射線治療症例数 0
- (6) 血管内手術症例数 4
- |                |    |
|----------------|----|
| 動脈瘤塞栓術 (破裂動脈瘤) | 2  |
| 閉塞性脳血管障害の総数    | 2  |
| (上記のうちステント使用例) | 1) |
- (7) 剖検数 0
- (8) 論文発表

## 北九州市立八幡病院

(〒805-8534 福岡県北九州市八幡東区西本町4-18-1 部長 越智 章)

(1) 医師数 3 (専門医 3)

越智 章、福田修志、福田雄高

(2) 病床数 25

(3) 入院症例数 304

(4) 手術症例数 64

脳血管障害	11
脳動脈瘤クリッピング	
破裂	4
未破裂	0
脳動静脈奇形	1
高血圧性脳内出血	
開頭血腫除去	4
定位的	2
外傷	19
急性硬膜下血腫	1
慢性硬膜下血腫	18
脊髄脊椎	4
前方固定	1
椎弓形成・椎弓切除	2
ヘルニオトミー	1
脳腫瘍	2
摘出	2
その他	28
水頭症	
シャント	13
ドレナージ	7
その他	8

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 6

脳動脈瘤コイル塞栓術

	破裂	2
	未破裂	1
CAS		1
PTA/PTR		2

(7) 剖検数 1

(8) 学会発表

超高齢化社会を迎えた長崎県離島地域における脳卒中医療

—本土基幹施設を介した急性期診療の現状と課題—

福田雄高、日宇 健、小野智憲、牛島隆二郎、戸田啓介、堤 圭介  
第41回日本脳卒中学会総会 (2016.4.14-16、札幌市)

出血発症の肝細胞癌の脳転移の1例

福田修志、福田雄高、岩永充人、越智 章

日本脳神経外科学会第75回学術総会 (2016.9.29-10.1、福岡市)

黄色粘土状の器質化した巨大慢性硬膜下血腫の1例

福田雄高、福田修志、越智 章

第124回日本脳神経外科学会九州支部会 (2016.10.22、大分市)

こんな時は要注意！あなたの脳を守りましょう

脳卒中の予防と早期発見

福田雄高

市民向け公開講座 (2016.11.26、北九州市)

黄色粘土状の器質化した若年巨大慢性硬膜下血腫の1例

福田雄高、福田修志、越智 章

第34回長崎脳神経外科研究会 (2016.12.3、長崎市)

## 石坂脳神経外科

(〒857-1162 佐世保市御本町30-42 院長 石坂博昭)

(1) 医師数 1 (専門医 1)

石坂博昭

(2) 病床数 19

(3) 入院症例数 203

(4) 手術症例数 59

aneurysm	9
CEA	10
tumor	1
hypertensive intracranial hematoma	1
trauma	13
anastomosis (STA-MCA・etc)	6
microvascular decompression	4
spinal	11
shunt	1
others	3

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 講演

突発性水頭症の基礎知識

石坂博昭

小野薬品社内講演会 (佐世保市)

(9) 社会活動

石坂博昭	佐世保市立日宇中学校（校医）
------	----------------

## 安永脳神経外科

(〒851-2105 西彼杵郡時津町浦郷264-3 院長 安永暁生)

(1) 医師数 2 (専門医 2)

安永暁生、福嶋政昭

(2) 病床数 19

(3) 入院症例数 233

(4) 手術症例数 99

Aneurysm	.....	12
ICA	4	
MCA	2	
Acom	3	
disral ACA	3	
Brain tumor	.....	14
meningioma	10	
pituitary adenoma	4	
Intracerebral H.	.....	1
Craniotomy	1	
CEA	.....	2
STA-MCA	.....	2
Trauma	.....	39
acute SDH	1	
chr. SDH	38	
Microvascular decompression	.....	2
trigeminal	0	
hemifacial	2	
Spine	.....	18
Cervical		
anterior fusion	2	
laminoplasty	6	
C1-2 fixation	1	
Thoracic		
laminectomy	2	
Lumbar		

	laminectomy	7	
Shunt	.....		7
	VP shunt	7	
Others	.....		2

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 論文

新生脳動脈瘤

安永暁生、福嶋政昭

西彼杵医師会報 2 月号:p. 59, 2016

医療事故調査制度と医療紛争処理制度

安永暁生

西彼杵医師会報 6 月号:p. 12, 2016

編集後記

安永暁生

西彼杵医師会報10月号:p. 74, 2016

(9) 発表

頸部痛を呈した脊椎石灰沈着症の 4 例

安永暁生

第19回西彼杵医師会学術集会 (2016. 11. 15、長崎)

急性頸部痛で発症した頸椎石灰沈着症の 4 例

福嶋政昭、安永暁生

第34回長崎脳神経外科研究会 (2016. 12. 3、長崎)

(10) 社会活動

安永暁生	長崎県医師会医療紛争処理委員会（委員） 西彼杵医師会（副会長） 長崎県西彼保健所 西彼地域医療安全相談センター連絡調整会議（委員） 長崎県医療政策課 長崎地区脳卒中センター等会議（委員） 長崎県医療政策課 長崎地区地域医療構想調整会議（委員）
------	---

## 井 上 脳 神 經 外 科

(〒857-0143 佐世保市吉岡町1005-1 院長 井上 優)

(1) 医師数 1 (専門医 1)

井上 優

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位の放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

## 陣の内脳神経外科クリニック

(〒816-0802 福岡県春日市春日原北町3-63 理事長 陣内敬文)

(1) 医師数 2 (専門医 2)

陣内敬文

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 学会発表

頭痛の診断と治療

陣内敬文

久留米脳神経外科懇話会 (2016.7.13、久留米市)

(9) 社会活動

筑紫地区障害支援区分審査会 合議体長

テレビ出演

陣内敬文 RCVSと片頭痛 (KBCテレビ; アサデス, 2016.2.8)

## 三宅脳神経外科医院

(〒852-8023 長崎市若草町3-21 院長 三宅仁志)

(1) 医師数 1 (専門医 1)  
三宅仁志

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位の放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

## 伊崎脳神経外科・内科

(〒856-0831 大村市東本町168 理事長 伊崎 明)

(1) 医師数 2 (専門医 1)  
伊崎 明

(2) 病床数 19

(3) 入院症例数 243

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 講演

認知症を知られば怖くない

伊崎 明

楽習ひろば「介護予防ではつらっライフ」(2016.2.2、大村市)

①相談医初診事例からみたかかりつけ医のかかわり方

②当院におけるメモリー錠の使用経験

伊崎 明

第3回大村市認知症相談医講習会(2016.2.8、大村市)

①BPSDについて

②抗認知症治療薬における貼付剤の使い方講座

伊崎 明

大村市認知症ケア研究会(小野薬品)(2016.2.16、大村市)

認知症の予防と認知症のサポートについて

伊崎 明

大村市民生委員児童委員協議会連合会研修会（2016.2.17、大村市）

認知症高齢者の運転について

伊崎 明

第3回スキルアップ研修（2016.2.24）

認知症 地域連携 ～大村市地域包括とタイアップした医師会の取り組み～

伊崎 明

県央地区認知症疾患多職種連携の会（2016.3.17、諫早市）

認知症地域連携 ～大村市地域包括とタイアップした 医師会の取り組み～

伊崎 明

武田薬品 社外講師勉強会（2016.5.24）

大村地区における認知症治療の取り組み

伊崎 明

認知症治療・実践ミーティング（2016.6.23、長崎市）

体温調節と熱中症

伊崎 明

富建安全大会（2016.7.22、大村市）

無呼吸症候群（SAS）と熱中症対策について

伊崎 明

幸運トラック 管理者研修会（2016.8.21、雲仙市）

BPSDを学ぼう

伊崎 明

認知症支援リーダー研修（2016.9.9、大村市）

ストレスチェックの準備と実施の流れ

伊崎 明

県央地区ストレスを考える会（2016.9.14、大村市）

認知症高齢者の増加 今、それぞれの現場では何が

伊崎 明

平成28年度認知症支援リーダースキルアップ研修（第1回目）（2016.10.21）

認知症診療お役立ち情報

伊崎 明

第5回大村市認知症相談医講習会（2016.10.24、大村市）

高次脳機能障害に目を向けて ～当院自験例を中心に～

伊崎 明

第5回長崎県央地区リハビリテーション医学研究会（2016.11.11）

BPSDについて

伊崎 明

大村市通所介護事業者連絡協議会研修会（2016.11.18、大村市）

## 古賀脳神経外科

(〒850-0017 長崎市新大工町5-7 院長 古賀博明)

(1) 医師数 1 (専門医 1)  
古賀博明

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位の放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 講演

## 桑原脳神経外科医院

(〒820-0053 福岡県飯塚市伊岐須131 院長 桑原正憲)

(1) 医師数 1 (専門医 1)

桑原正憲

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位の放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

# 日 浦 病 院

(〒851-2326 長崎市下黒崎町1402 理事長 日浦 剛)

- (1) 医師数 1  
日浦 剛
- (2) 病床数 約 15
- (3) 入院症例数 219
- (4) 手術症例数 0
- (5) 定位の放射線治療症例数 0
- (6) 血管内手術症例数 0
- (7) 剖検数 0

## 山 鹿 ク リ ニ ッ ク

(〒802-0084 北九州市小倉北区香春口1-13-1 院長 山鹿誠一)

(1) 医師数 1 (専門医 1)  
山鹿誠一

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

## つつみ脳神経外科クリニック

(〒833-0054 福岡県筑後市大字蔵数642-7 理事長 堤 健二)

- (1) 医師数 1 (専門医 1)  
堤 健二
- (2) 病床数 0
- (3) 入院症例数 0
- (4) 手術症例数 0
- (5) 定位的放射線治療症例数 0
- (6) 血管内手術症例数 0
- (7) 剖検数 0

## ひらた脳神経外科クリニック

(〒818-0125 福岡県太宰府市五条2-11-3 理事長 平田勝俊)

(1) 医師数 1 (専門医 1)  
平田勝俊

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

## 山下脳神経外科クリニック

(〒744-0072 山口県下松市望町5-4-7 院長 山下弘己)

(1) 医師数 1 (専門医 1)

山下弘己

(2) 病床数 0

(3) 入院症例数 0

(4) 手術症例数 0

(5) 定位的放射線治療症例数 0

(6) 血管内手術症例数 0

(7) 剖検数 0

(8) 社会活動

山下弘己	下松医師会 (副会長)
------	-------------



### 3. 研 究 会

## 3. 研 究 会

## 3-① 長崎脳神経疾患治療研究会

## 第29回長崎脳神経疾患治療研究会

日時 2016年1月18日(月) 18:45～

場所 長崎大学医学部ポッセパ会館 (長崎市)

【特別講演】 座長 北川直毅 (済生会長崎病院 脳神経外科)

演題 「脳幹部病変の最新所見」

演者 氏福健太 (長崎大学 脳神経外科)

【一般演題】 座長 北川直毅 (済生会長崎病院 脳神経外科)

演題 1 「凝固異常を認めた急性硬膜下血腫」

演者 高平良太郎 (済生会長崎病院)

演題 2 「短期間に2度の皮下出血をきたした1例」

演者 松永裕希 (長崎みなとメディカルセンター市民病院)

演題 3 「特異な臨床経過をたどったくも膜下出血の1例」

演者 柚川知香 (長崎医療センター 初期研修医)

## 第30回長崎脳神経疾患治療研究会

日時 2016年5月23日(月) 18:45～21:00

場所 長崎大学医学部ポッセパ会館 (長崎市)

【一般講演】 座長 安永暁生 (安永脳神経外科 病院長)

演題 1 「椎骨動脈圧迫による二次性高血圧の1例」

演者 郡家克旭 (長崎大学 脳神経外科)

演題 2 「再発する脳室内出血の症例」

演者 原口 渉 (済生会長崎病院 脳神経外科)

演題 3 「左房内血栓による内頸動脈塞栓症に対して血栓回収術を行った一例」

演者 伊木勇輔 (長崎みなとメディカルセンター市民病院 脳神経外科)

演題 4 「意識障害を呈した頭蓋底骨折、気脳症の1例」

演者 佐藤 慧 (長崎医療センター 脳神経外科)

第31回長崎脳神経疾患治療研究会

日時 2016年10月31日（月） 18：45～21：00

場所 長崎大学医学部ポンペ会館（長崎市）

【一般講演】 座長 堀江信貴（長崎大学 脳神経外科）

演題 1 「汎下垂体機能低下症で発症した視床下部病変の一例」

演者 郡家克旭（長崎大学 脳神経外科）

演題 2 「後頭部の疼痛と痺れを発症した1例」

演者 宗 剛平（済生会長崎病院 脳神経外科）

演題 3 「慢性硬膜下血腫に対する中硬膜動脈塞栓術の有用性」

演者 伊木勇輔（長崎みなとメディカルセンター市民病院 脳神経外科）

演題 4 「内側側頭葉腫瘍の手術」

演者 小野智憲（長崎医療センター 脳神経外科）

---

### 3－② 長崎脳腫瘍研究会 2016

日時 2016年2月12日（金） 19：00～20：30

場所 ベストウェスタンプレミアホテル長崎（長崎市）

【一般講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

演題 「悪性神経膠腫患者の深部静脈血栓症対策」

演者 氏福健太（長崎大学 脳神経外科 助教）

【特別講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

演題 「経鼻手術の歴史、現況、展望－自分の歩んだ軌跡も含めて－」

演者 佐伯直勝（千葉大学 脳神経外科学 教授）

## 3-③ 長崎間脳下垂体疾患カンファレンス

## 第10回長崎間脳下垂体疾患カンファレンス

日時 2016年3月18日（金） 19：00～20：40

場所 ホテルニュー長崎（長崎市）

## 【Opening remarks】

「先端巨大症の診断と治療の手引きについて」

川上 純（長崎大学 第一内科 教授）

## 【症例検討会】 司会 鎌田健作（長崎大学 脳神経外科 講師）

症例 1 「2次元神経内視鏡と3次元神経内視鏡 その有用性」

演者 鎌田健作（長崎大学 脳神経外科 講師）

症例 2 「転移性脳腫瘍との鑑別を要したSAPHO症候群関連下垂体病変の一例」

演者 明島淳也（長崎大学 内分泌・代謝内科）

## 【特別講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

演題 「下垂体及び近傍疾患に対する経鼻内視鏡手術」

演者 松野 彰（帝京大学 脳神経外科学 主任教授）

### 3-④ 長崎脳卒中市民講座

第12回長崎脳卒中市民講座

日時 2016年5月14(土) 14:00～16:00

場所 メルカつきまちホール(長崎市)

開会の挨拶 辻野 彰(長崎大学 脳神経内科 教授)

司会 出雲 剛(長崎大学 脳神経外科 講師)

講演 1 「脳卒中後の生活に向けたリハビリテーション」

演者 平野友久(上戸町病院 回復期リハビリテーション 病棟医長)

講演 2 「在宅におけるリハビリテーションの考え方と実践」

演者 尾崎武正(訪問看護ステーションひまわり 主任)

司会 立石洋平(長崎大学 脳神経内科 助教)

講演 3 「脳卒中を防ぐ食事のポイント」

演者 西岡心大(長崎リハビリテーション病院 教育研修部/栄養管理室)

講演 4 「脳卒中と飲み込みの障害」

演者 富崎春水(富崎歯科医院 院長)

閉会の挨拶 松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

### 3－⑤ 長崎大学脳神経外科 市民公開講座

脊椎疾患がもたらす“しびれ”とその治療

日時 2016年5月28日(土) 14:00～16:00

場所 メルカつきまちホール(長崎市)

開会の挨拶 松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

司会 出雲 剛(長崎大学 脳神経外科 講師)

座長 案田岳夫(長崎大学 脳神経外科 准教授)

講演 1 「頸椎変性疾患によるしびれ」  
 演者 角田圭司(長崎大学 脳神経外科 講師)

講演 2 「腰椎変性疾患によるしびれ」  
 演者 田上敦士(長崎大学 整形外科 助教)

講演 3 「末梢神経疾患によるしびれ」  
 演者 豊田啓介(長崎労災病院 脳神経外科 )

座長 松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

講演 4 「脊椎疾患に対するリハビリテーション」  
 演者 山下正太郎(長崎大学病院 理学療法士)

講演 5 「脊椎疾患の手術に対する入院治療費および特定疾患申請について」  
 演者 向田圭介(長崎大学病院 医療支援課)  
 岩崎 恵(長崎大学病院 医事課)

閉会の挨拶 角田圭司(長崎大学 脳神経外科 講師)

### 3-⑥ 長崎脳血管内治療研究会

第1回長崎脳血管内治療研究会

日時 2016年6月3日(金) 19:00～21:00

場所 ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル(長崎市)

【一般演題】 座長 堀江信貴(長崎大学 脳神経外科 講師)

演題 1 「急性期脳底動脈流に対する再開通療法の検討」

演者 定方英作(長崎大学 脳神経外科)

演題 2 「破裂前交通脳動脈瘤治療法選択の動向ー長崎SAH研究会データベースにおける過去10年間の後方視的検討ー」

演者 日宇 健(長崎医療センター 脳神経外科)

演題 3 「内頸動脈起始部閉塞と中大脳動脈M1部閉塞のtandem lesionに対する再開通療法」

演者 林 健太郎(佐世保市総合医療センター 脳神経外科)

【特別講演】 座長 松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

演題 「とどまらない進歩を続ける脳血管内治療」

演者 坂井信幸(神戸市立医療センター中央病院 脳神経外科 部長)

## 3-⑦ 長崎ニューロイメーシングカンファレンス

## 第13回長崎ニューロイメーシングカンファレンス

日時 2016年6月6日(月) 19:00～20:25

場所 ベストウエスタンプレミアホテル長崎(長崎市)

## 【Opening remarks】

「アセタゾラミド負荷脳血流SPECT検査の適正使用」

松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

【話題提供】 座長 辻野 彰(長崎大学 脳神経内科 教授)

演題 「認知症・変性疾患における核医学検査」

演者 工藤 崇(長崎大学 原爆後障害医療研究所アイソトープ診断治療学 教授)

【特別講演】 座長 上谷雅孝(長崎大学 放射線診断治療学 教授)

演題 「Arterial Spin Labeling(ASL)MR灌流画像、その原理に基づいた有用性と限界～脳循環代謝の評価を目指して～」

演者 木村浩彦(福井大学 放射線医学 教授)

## 3-⑧ 長崎脳疾患研究会

## 第11回長崎脳疾患研究会

日時 2016年7月6日(水) 19:00～20:30

場所 ホテルニュー長崎(長崎市)

【一般講演】 座長 松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

演題 「内視鏡下脳内血腫除去術」

演者 鎌田健作(長崎大学 脳神経外科 講師)

【特別講演】 座長 松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

演題 「脳室近傍腫瘍の手術に必要な微小外科解剖と実際」

演者 岡 秀宏(北里大学 脳神経外科 教授、北里大学メディカルセンター 病院長補佐)

### 3-⑨ ストップ！NO卒中プロジェクトエリア会議 in 長崎

日時 2016年7月22日（金） 18：50～20：45

場所 長崎ワシントンホテル（長崎市）

【一般講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

演題1 「脳梗塞急性期の現場から～いま治し、次を抑える～」

演者 立石洋平（長崎大学 脳神経内科 助教）

演題2 「周南記念病院における脳卒中の取り組み」

演者 案田岳夫（長崎大学 脳神経外科 准教授）

【特別講演】 座長 辻野 彰（長崎大学 脳神経内科 教授）

演題 「脳卒中診療の最新の知見」

演者 富本秀和（三重大学 神経病態内科学 教授）

---

### 3-⑩ 脳神経外科Expert Meeting

日時 2016年10月28日（金） 19：00～20：30

場所 ベストウェスタンプレミアホテル長崎（長崎市）

総合司会 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）

【一般演題】

演題 「長崎大学脳神経外科におけるギリアデルの使用経験」

演者 吉田光一（長崎大学 脳神経外科 助教）

【特別講演】

演題 「正中部頭蓋底腫瘍の治療戦略」

演者 大畑建治（大阪市立大学 脳神経外科 教授）

## 3-⑪ 長崎脳神経外科フォーラム

## 第2回長崎脳神経外科フォーラム

日時 2016年11月1日(火) 19:00～20:30

場所 平安閣サンプリエール(長崎市)

司会 松尾孝之(長崎大学 脳神経外科 教授)

## 【一般講演】

演題1 「アンケート方式による脳神経外科医のてんかん診療の把握」

演者 吉田光一(長崎大学 脳神経外科 助教)

演題2 「脳疾患急性期における抗てんかん薬」

演者 小野智憲(長崎医療センター 脳神経外科)

## 【特別講演】

演題 「Multimodality を用いたSkull base meningiomaの治療」

演者 嘉山孝正(山形大学 がんセンター がんセンター長)

### 3-⑫ 長崎てんかん研究会

第37回長崎てんかん研究会

日時 2016年11月24日（木） 18：50～21：00

場所 長崎大学病院 第3講義室（長崎市）

【一般講演】 座長 戸田啓介（長崎医療センター てんかんセンター 脳神経外科）

演題1 「The Hospital for Sick Childrenでのてんかん外科治療」

演者 馬場史郎（長崎大学 脳神経外科 助教）

演題2 「先天性脳梁欠損に局在関連てんかんを合併した症例」

演者 尾曲久美（長崎医療センター 小児科）

演題3 「治療に難渋しているGlut1欠損症の家族例」

演者 里 龍晴（長崎大学 小児科 助教）

演題4 「側頭葉てんかんの一手術例より発作時言語症状を考案する」

演者 戸田啓介（長崎医療センター てんかんセンター 脳神経外科）

【特別講演】 座長 馬場啓至（西諫早病院 てんかんセンター 脳神経外科）

演題 「てんかん原性脳病変の病理」

演者 宮田 元（秋田県立病院機構 秋田県立脳血管研究センター 脳神経病理学研究部長）

## 3-⑬ 長崎くも膜下出血研究会・長崎脳血管内治療研究会

第35回長崎くも膜下出血研究会

第2回長崎脳血管内治療研究会

日時 2016年12月21日（水） 19：00～21：00

場所 ホテルニュー長崎（長崎市）

【第一部】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）  
 演題 「くも膜下出血研究会報告」  
 演者 上之郷眞木雄（井上病院 脳神経外科 部長）

【特別講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）  
 演題 「脳血管障害に対する血管内手術と直達手術」  
 演者 吉村紳一（兵庫医科大学 脳神経外科 主任教授）

## 3-⑭ 長崎転移性脳腫瘍治療カンファランス

日時 2016年12月16日（金） 19：00～20：45

場所 長崎新聞文化ホールアストピア（長崎市）

【基調講演】 司会 鎌田健作（長崎大学 脳神経外科 講師）  
 演題 「脳腫瘍に対するベバシズマブの使用経験」  
 演者 氏福健太（長崎大学 脳神経外科 助教）

【特別講演】 司会 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科 教授）  
 演題 「分子標的薬の時代に転移性脳腫瘍を考える」  
 演者 井内俊彦（千葉県がんセンター 脳神経外科 部長）

### 3－⑮ 長崎脳神経外科研究会

第34回長崎脳神経外科研究会

日時 2016年12月3日(土) 13:30～17:30

場所 ベストウェスタンプレミアホテル長崎 (長崎市)

【一般演題】

セッションⅠ； 座長 陶山一彦 (長崎みなとメディカルセンター市民病院 脳神経外科)

1. 右眼窩外側壁から発生した骨内髄膜腫の一例  
奥永知宏 (社会医療法人陽明会小波瀬病院 脳神経外科)
2. 頭蓋内髄膜腫に対するガンマナイフ治療の有用性と限界  
森 勝春 (愛野記念病院 脳神経外科)
3. 汎下垂体機能低下症を呈した視床下部転移性脳腫瘍の一例  
郡家克旭 (長崎大学 脳神経外科)
4. 低出生体重児脳室内出血に伴う水頭症管理の検討PIカテーテルを用いた脳室ドレナージの有用性  
松永裕希 (佐世保市総合医療センター 脳神経外科)
5. 難治てんかんに対する脳梁離断の長期予後  
戸田啓介 (長崎医療センター 脳神経外科)
6. 慢性硬膜下血腫の再発因子と洗浄の必要性の検討  
本田 優 (周南記念病院 脳神経外科)
7. 黄色粘土状の器質化した若年巨大慢性硬膜下血腫の1例  
福田雄高 (北九州市立八幡病院 脳神経外科)

セッションⅡ； 座長 岩永充人 (佐世保市総合医療センター 脳神経外科)

1. くも膜下出血で発症し、術後数年経過して再出血したDistal PICA動脈瘤の3例  
清水 正 (十善会病院 脳神経外科)
2. 当院での頸動脈狭窄症に対する外科的治療の現状  
広瀬 誠 (長崎労災病院 脳神経外科)

3. 当院においてOnyxによる塞栓を行い、摘出に至った脳動静脈奇形の一例  
平山航輔（長崎県島原病院 脳神経外科）
4. 静脈瘤からの出血を繰り返した海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻の一例  
山口 将（長崎みなとメディカルセンター市民病院 脳神経外科）
5. 再発を繰り返す脳底動脈先端部瘤の1例  
宗 剛平（済生会長崎病院 脳神経外科）
6. 急性頸部痛で発症した頸椎石灰沈着症の4例  
福嶋政昭（安永脳神経外科）

【連携施設講演】 座長 堀江信貴（長崎大学 脳神経外科）  
堤 圭介（長崎医療センター 脳神経外科）

陶山一彦（長崎みなとメディカルセンター市民病院 脳神経外科）

徳永能治（長崎県島原病院 脳神経外科）

北川直毅（長崎労災病院 脳神経外科）

岩永充人（佐世保市総合医療センター 脳神経外科）

【留学報告】 座長 堀江信貴（長崎大学 脳神経外科）

石坂俊輔（長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター 脳神経外科）

【退職講演】 座長 松尾孝之（長崎大学 脳神経外科学）

上之郷眞木雄（佐世保市総合医療センター 脳神経外科 2016年3月退職）



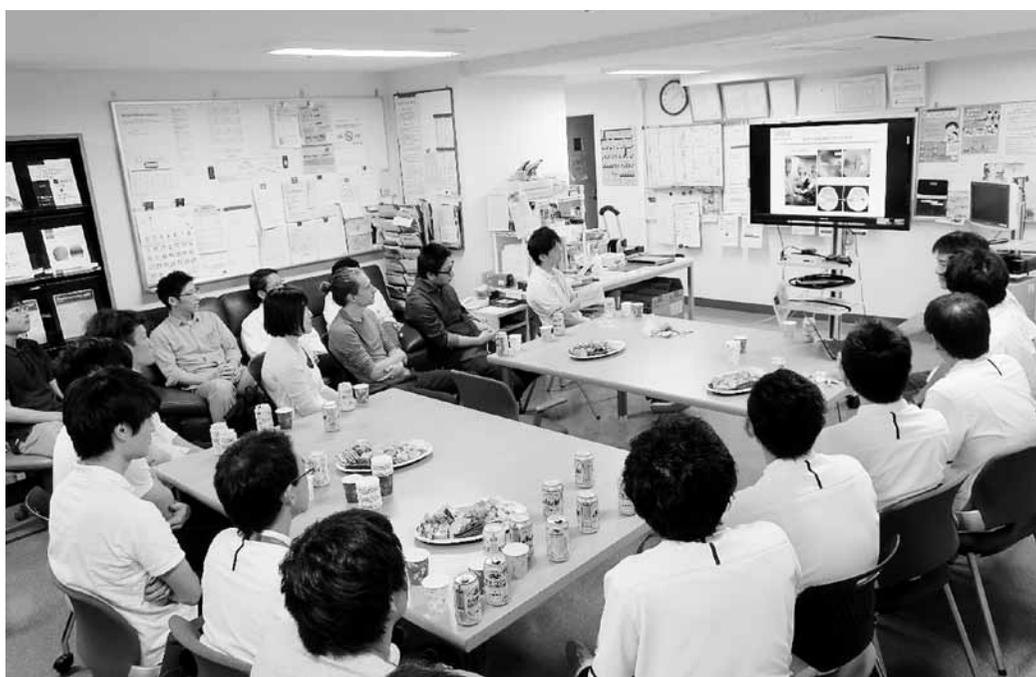
## 4. 現況報告 (2017年4月現在)

## 4. 現 況 報 告 (2017年4月現在)

### 長崎大学脳神経外科医局



医局旅行 (2017. 6. 16-6. 17、鹿児島へ)



医局説明会 (2017. 7. 20 於 長崎大学脳神経外科医局)

大学医局の現況をご報告します。臨床においては伊木勇輔先生、佐藤 慧先生を中心に慌ただしい日々を送っています。伊木先生は深夜の病棟を徘徊(?)するのが日課です。最近  
は当直でないときも夕食も医局でとっており、誰よりも大学病院にいる時間が多いのではな

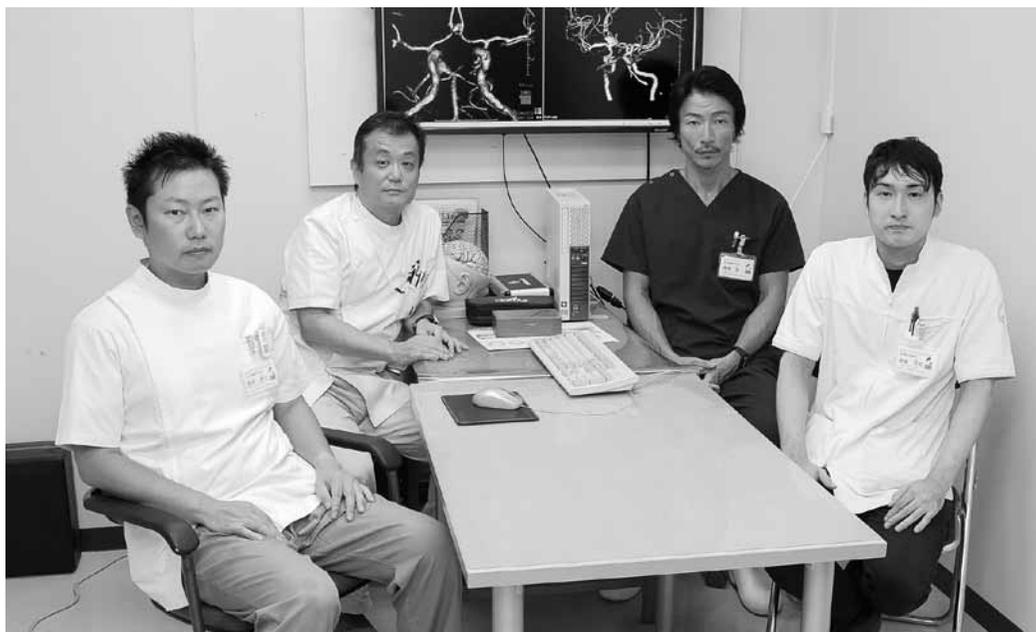
いかと思います。家庭のことが心配される場所ですが、無事に第一子が生まれ、奥様が里帰りして今はsingle lifeとのことでした。佐藤先生も独特のキャラクターがあり、病棟においては小ネタをいつも披露して周囲を和ませています（お笑い芸人のものまね、いや芸人にそっくりです）。彼のgoogle検索は特筆すべきものがあります。彼らオーベンに付きながら病棟業務をこなしているのが、後期研修医3年目の杉川先生、高平先生です。杉川先生は医局唯一の女医ですが、その優しさで病棟看護師の信頼は厚いです。医局員も“へへへっ”という笑顔に癒やされている方が多いのではないのでしょうか？高平先生も優しい性格ですが、佐藤先生のギャグに振り回されることなく頑張っています。古賀先生は産休中ですが、時折医局に赤ちゃんを連れて遊びに来ます。実は長崎大学脳神経外科始まって以来の同門の出産となります。復帰がスムーズにできるよう医局としても頑張っています。現在、病棟業務はチーム制となっており、腫瘍グループ、血管障害グループ、小児・脊髄グループに分け、皆が協力して業務をこなしています。2016年の手術件数は517件になりました。

レクリエーションとしましては6月の脳神経外科九州支部会に合わせまして、鹿児島まで初の医局旅行をしました。皆でレンタカー2台に乗り合わせて長崎から鹿児島まで往復しましたが、案田先生のドライブテクニックに翻弄されながら（?）、あっという間に4時間程度での到着でした。温泉旅館に宿泊し、水族館、桜島観光など楽しく回りました。1泊2日の旅でしたが、吉田先生は1泊で5回も温泉に入るなど十分満喫していました。夜は松尾教授の部屋集合でトランプ大会が予定されており、大富豪で盛り上がりました（実際は医局長の部屋となりましたが）。地方会の座長や発表で途中で抜ける先生方もいましたが、予定より早くセッションを終了して駆けつけて頂いた先生もいました。医局旅行は今後もぜひ継続していきたいと思いますので、ご希望される同門の先生方は御連絡下さい。

最後になりますが、この1年も医学部生との交流（飲み会）を精力的に行ってきました。医局説明会では18人もの医学部生、初期研修医が参加してくれました。何と言ってもマンパワーが大事です。今後も脳神経外科の魅力を伝え、若い人材発掘に取り組んでいきたいと思っています。

（記 堀江信貴）

## 長崎労災病院



昭和32年に佐世保北部の大野地区に開院した長崎労災病院ですが、昭和40年に外科出身の故嶋田正彦先生が初代の脳神経外科部長となられ、昭和49年から昭和51年には故川野正七先生が第2代目部長、昭和57年には横山博明先生が3代目の部長となられた頃は県北地区唯一の脳神経外科施設で、南は現在の西海市、波佐見町・川棚町から、北は平戸・松浦、東は伊万里・有田まで人口50万人近くをカバーされていました。最初と一緒に勤務となった故辻村雅樹先生を筆頭に、その後何人も長崎大学脳神経外科同門が勤務されており、平成13年に横山先生が副院長となられてからは平成14年から堤圭介先生、平成16年から山下弘己先生、平成20年から出雲剛先生が最年少で脳神経外科部長となられ、平成21年には横山先生が院長に昇進、平成24年から陶山一彦先生が7代目部長となられています。横山先生が平成26年に退官された後は鳥羽保先生が8代目部長とされましたが夭折され、平成28年より私が歴史ある長崎労災病院の9代目の脳神経外科部長とやらせていただきました。

当院の特徴は整形外科を中心とした手術症例が多く手術場や麻酔科・ICUなどが整備されていることで、脳神経外科手術症例数は減ってきましたが、脳血管内手術と併せて現在4人体制で年間200例をどうにかキープしています。また神経内科医がいまないので年間400例程度の脳卒中症例や、外傷症例を脳外科医が初期治療から行うということが特徴です。これからも長崎県北地区の神経救急疾患を中心に脳神経外科疾患の地域医療を進めていきたいと思えます。

(記 北川直毅)

## 佐世保市総合医療センター



脳卒中センタースタッフ一同

### 《スタッフ》

岩永充人、白川 靖、林 健太郎、林 之茂、松永祐希の5名です。

平成28年3月長きにわたり当施設をけん引してこられた上之郷眞木雄先生が退官されました。同年4月より岩永が赴任し、上記メンバーで2年目に突入しています。代り映えないデメリットをチームワーク熟成のメリットで凌駕しています。

### 《脳卒中センター》

脳神経外科5名と神経内科3名で協力し運営しています。年々、徐々にではありますが、脳卒中の受け入れ数が増加しています。平成29年4月より日本脳神経血管内治療学会訓練施設の指定を受けました。血管内治療専門医以外の3名もトレーニングを受け、血栓回収療法実施医資格を取得しました。おかげで、血管内治療学会期間中も脳梗塞超急性期に対応できる体制が整いました。また、近日中にSCUが立ち上がる予定です。

### 《技術継承》

手術症例は150例程度と多くありませんので、できるだけ交代して手術に参加する方針をとっています。見て、触れて、見ての繰り返しはお互い勉強になります。執刀医の年齢も近く（1名を除いて）、技術継承というより、5名全員がともにスキルアップすることを目指しています。

### 《今後の取り組み》

神経内視鏡症例、脊椎脊髄症例を積極的に増やしていく予定です。

（記 岩永充人）

## 国立病院機構長崎医療センター



カンファ集合写真

年間400～450例程度の手術を行っており、2016年の手術件数は428例でした。内容は破裂/未破裂脳動脈瘤を主体とする脳血管障害・脳腫瘍・頭部外傷・小児脳神経/先天奇形・てんかんを中心とした機能的脳外科・脳動脈瘤/超急性期脳梗塞に対する脳血管内治療など多岐に及んでいます。長崎大学を基幹施設とする主要協力型施設のひとつで、各スタッフは専門領域によって、てんかん学会専門医・脳卒中学会専門医・脳血管内治療学会専門医などの資格を有し、脳血管障害に関する臨床研究、外科治療を経由するてんかん発症機序の研究などを継続しています。

難治性てんかんの外科治療は1000例以上の実績があり、本邦でも最大規模の症例を有する施設のひとつで、特に小児難治てんかんの症例は全国より紹介を受けています。2014年度からはてんかんセンターとして機能し、てんかん診療のみならず国内・国際学会への発表も多く、質の高い情報発信を行っています。毎月定例のてんかんカンファレンスでは、医師＝小野先生/内田先生（聖隷浜松病院から半年間てんかん外科研修に来られている6年目の先生です）/戸田先生（6月から必要時は診療応援に参加していただく予定です）/馬場先生（適宜診療・手術のアドバイスに参加していただいています）、小児科：本田先生等・看護師・薬剤師・臨床検査技師・心理療法士などの多職種が参加しディスカッションを行うことにより、包括的なてんかん診療を提供できる体制がとれるようになっていきます。

また、小児脳神経外科を専門とする牛島先生の赴任に伴い、この分野の患者数増加や診療の質的向上が図られており、今後もさらに発展するものと期待しているところです。牛島先生には、6月から戸田先生の後任として病棟医長をお願いしています。

県医療政策における高次脳卒中センターに指定されており、高解像度画像転送システムとドクターヘリ/自衛隊ヘリ/県防災ヘリによる24時間体制の救急航空搬送系によって、長崎県央のみならず各離島地域の神経救急医療を担う中核施設として活動しています。救命救急センタースタッフの方々は急性期脳卒中や神経外傷診療に対し非常に協力的でactiveであり、そのhotなpartnershipのもと、“救命医がfirst touchする脳卒中ホットラインシステム（NMC-

SHOT)”がスタートしています。院内連携もスピードアップされ、専門医到着時にはすでに検査情報が参照できる状況にあります。脳卒中ではなかった場合の対応 / 他科への連携もスムーズです。神経内科の先生方の積極的な診療参加もあって急性期脳梗塞症例は増加傾向にあります。脳卒中に特化するスタッフ数が限られ、どうしてもmanpower的に問題の起きやすい環境にある市中救急施設の現状の中で、NMC-SHOTはたいへん有難いシステムであると感じています。遅まきながら拘束医が端末を携帯できるシステムも導入され、各離島ともSHOT callで連携する方向で検討が進んでおり、今後更なる発展が期待されています。

脳血管内治療専門医（日宇先生）による血栓回収療法症例は増加傾向にあり、離島発症例でのdrip/ship/retrieve approachも急速に発展しています。また、SAH後のsevere spasmに対すIA療法併用の判断/施行のtimingは非常に迅速化されてきています。

4月からは川原先生の赴任により、脳血管障害の診療や外科治療部門における急速な質的/量的向上が図られています。術中モニターや内視鏡の併用、遠隔地への航空医療や地域施設/救命救急センタースタッフとの連携等を含めた新たな分野への積極的関与など、今後の発展が期待されています。

他方、重症患者における帰島手段の確保は依然重要課題であり、“長崎離島医師搬送システム（Nagasaki Island Medical Air System: NIMAS）”運行時の医師派遣に合わせて同乗可能な症例があるものの、利用の恩恵を受ける患者さんはごく一部に限られている現状があります。この点も含めて、2016年度から開始された脳神経外科専任：本田JNP（Japanese Nurse practitioner：診療看護師）の診療参加によって、患者搬送業務における医師の負担軽減/スムーズ化/効率化が図られています。NIMASによる搬送時担当医が同乗できない場合、医師に限るという規約上これまでは搬送を延期せざるを得なかったのですが、2017年4月からは特例としてJNP同乗も許可されるようになったため、担当医のみならず患者さん/ご家族の負担も軽減されることが期待されています。JNP業務のなかでもこの分野はさらに発展していく可能性が高いと考えています。

本邦が直面する急速な超高齢化環境のもと、必然的に脳血管障害患者は増加の一途をたどっています。一方、日常の救急現場で対応する医師は必ずしも専門医ではなく、実際には種々の見落としや不適切な初期診療が行われているという現状があります。この社会的環境やニーズに対応するひとつの手段として、2015年度から初期研修内容に“脳卒中初期診療コース”を新設しました。2015年度：8名、2016年度：7名と多数の初期研修医が参加しており、好評を博しています。脳外科ローテーター：3～4名、神経内科ローテーター：5～6名を含めると、各年次研修医20名の多くが脳神経病棟を経験することになります。研究会/学会へも積極的に参加していただいております。できるだけ論文文化までサポートできるように努力しているところです。常時病棟に若い医師が存在することの活気/士気向上を今更ながらに感じており、毎月の歓送迎会などを通じ交流/教育を進めています。救命病棟は全研修医が3か月間ローテートしますが、脳外科の患者さんが常時1/3-2/3を占めています。救命研修医は毎週の脳神経カンファにも必ず出席して各自のプレゼンや見学問で学べる環境ですので、ここでも交流/教育が可能です。After 5の時間帯における研修医との熱い交流については、4月からご本人のたってのご希望もあり、大園先生が“夜間特任教授”として活躍中です(^)v。

（記 堀 圭介）

## 長崎県島原病院



島原病院脳神経外科は、昭和48年4月長崎県内で最初に開設されました。現在先進の充実した診断治療機器（超伝導高磁場MRI（3T、1.5Tシーメンス社製2台）、高速ヘリカルCT、脳血流測定SPECT、頸動脈超音波装置、血管内手術用3次元撮影DSA、定位放射線治療用LINIAC radiosurgery装置、ライカ最新顕微鏡手術システム、神経内視鏡、ナビゲーションシステム）を備え、4月から新入局員1名を加えた4名体制で脳神経外科全領域に対応しています。

研修医、卒後レジデントの脳神経外科研修や勤務を希望する医師に対しては、教育受け入れ態勢も整い、熱心な指導を受けられます。

外来は月曜から金曜まで対応しています。島原半島の脳疾患急患に対しては、救急車、かかりつけ医との脳卒中に限定した適応4項目のホットラインを用い24時間対応しています。入院病床数は38床です。年間入院患者数は500人程度です。

疾患の特徴として脳卒中が多く、平成21年3月より長崎県高次脳卒中センターの認定を受け脳梗塞急性期治療の受け入れ態勢や治療成績が更に改善しました。虚血性脳血管障害に対して組織プラスミノゲンアクチベーターによる血栓溶解治療や血栓除去術を行なっています。外科的治療では脳出血に対しての開頭血腫除去術、定位的脳内血腫除去術をはじめ、脳動脈瘤に対して脳動脈瘤クリッピング術、血管内コイル塞栓術等を行なっています。脳腫瘍に対して脳腫瘍摘出術、化学療法や放射線治療を行ないます。またリニアック定位放射線治療用装置による最新で低侵襲短期間の入院治療が可能です。リニアック定位放射線治療では、

脳動静脈奇形、聴神経鞘腫、転移性脳腫瘍などの症例に放射線科医師と連携して治療を行っています。

今年度から新たに3T MRIシステムや、Leica手術用顕微鏡システム・手術ナビゲーションシステムを導入し、最先端の脳外科治療に対応しています。

急性期リハビリに関しては、この地区の高齢者の比率が増加しており、疾患そのものの治療と同時に早期離床と廃用や合併症の積極的予防を短期間を実施することが必要とされています。また急性期を過ぎた患者が回復期、維持期のリハビリへ円滑に移行することが必要とされ、転院後も原疾患の長期的フォローが反復継続されなければならないと思われます。当科の試みとして、第1に脳卒中入院に早期にリハビリを開始し、退院までの間に生活機能を評価し進歩の程度と課題を明瞭にするようにしています。また集中治療室でのモニター下での早期離床、廃用症候群予防リハビリテーションを試みています。第2に医師、療法士、薬剤師、看護師、医療ソーシャルワーカー、栄養士、臨床工学技師と共に多くのスタッフで治療できるよう勤めています。第3に当院転院後の回復期リハビリを担う近隣病院・施設との連携を深めるため、脳卒中地域連携パス年間約200例を運用しています。

今後とも島原半島の神経疾患の中核的施設として周辺の多くの施設の御協力を頂きながら神経疾患の急性期治療に貢献できるよう努力します。

(記 徳永能治)

## 済生会長崎病院



左から

原口 渡、研修医 山下Dr.、宗 剛平

### 《済生会長崎病院の特徴》

当院では2009年4月に脳神経外科が新設され、同年8月に現在の新病院へ移転してから脳神経外科専門医2人体制となり、本格的に診療を行っています。主な対象疾患は脳卒中や頭部外傷です。地域医療支援病院の立場から、周辺地域である長崎中央区の患者様が多いのですが、近くに長崎自動車道や長崎バイパスのインターがあり、アクセスも良いことから長崎北区からの救急搬送も少なくありません。

済生会は生活困窮者を救済しようと明治天皇が設立され、当院もそのグループの一員として「無料低額診療」を推進し、特別な事情を抱えている患者様に無料もしくは低額の料金で医療を提供しております。また、当院の特徴のひとつに総合病院には珍しく、全250床が無料・有料にかかわらず全て個室である事

が挙げられます。有料であっても4,000円/日、6,000円/日と低額でご利用頂け、プライバシーの観点から患者様には大変好評を頂いております。全250床の内12床はHCU、41床は包括病棟として運用しています。

#### 《診療実績と教育・啓蒙活動》

2016年の当科入院患者数は366例で、手術件数は51例、血管内治療は15例でした。その内14例がくも膜下出血であり、コイルファーストの方針で、11例にコイル塞栓術、2例に開頭クリッピングを行いました。その他には、高血圧性脳内出血に対して開頭血腫除去術は3例、定位的血腫除去術は1例、水頭症の脳室腹腔シャントは5例、急性硬膜下血腫の開頭血腫除去術は4例、慢性硬膜下血腫の穿頭血腫除去術は30例、内頸動脈狭窄のステント留置は2例、脳梗塞超急性期の血栓回収術は2例施行しています。長崎市内には脳神経外科対応可能な2次救急病院が3施設存在しており、そのひとつに当院があたりますが、3次救急である大学病院の関連病院として2次救急の役割を果たし、大学病院と連携をとりながら診療を行っています。

当科では年間に2人程度の研修医と1～3人のクリクラの学生が研修に回ってきます。救急室での診療や病棟での全身管理、手術や血管内治療を実習してもらい、脳卒中診療を中心に疾病の理解や診療の基本の理解と習得を目標に指導を行っています。

その他にも2016年度は、脳卒中を中心とした院内勉強会を月に2～3回開催したり、救命救急士・救急隊を主な対象とした意識障害と脳卒中患者の病院前救護におけるトレーニングコース（PCEC・PSLSコース）や医師・看護師を主な対象とした搬送後の脳卒中初期診療トレーニングコース（ISLSコース）を年3～4回開催し、コメディカルの育成や地域医療への貢献活動も行っています。地域住民向けにも健康講座を行い、脳卒中の予防や脳卒中の初期対応などの啓蒙活動に勤めています。

患者様にとってより良い医療を提供できるよう、あらゆる角度から日々切磋琢磨しております。

（記 原口 渉）

## 長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター



写真：新病院外観（病院名称サインとロゴマーク）

## 長崎川棚医療センターは新しくなります

旧病院建築から35年以上を経過した頃には、CT室の横や術場器械収納室などあちこちで雨漏りがするのでバケツが置かれタオルが敷かれる光景には慣れてしまいました。中央材料室ではコウモリが出没し（対応済み）、病院内では時々カニが歩いているのにも。手術室で写真を撮ると背景が黄色くセピア色。病棟の6人部屋では狭くて包交処置をするのも一苦労でしたし、何より患者さんが用足しの際は気の毒な限りでした。このように老朽化した病院の建て替えの話は10年以上前から計画されていましたが、東北や熊本の震災の影響による建築費高騰と土木関係者の人員不足で工期はのびのびになっていました。2年前にようやく着工され、本年6月上旬にいよいよ6階建てのヘリポートも備えた立派な建物が完成します。手術室はそれぞれピンク、グリーン、ブルーを基調に上品に色分けされた3部屋で将来を見越して広々とした造りです。

この新病院完成とあわせて、本年6月から戸田啓介先生が赴任します。専門のてんかん診療ができるように脳波ビデオモニタリング室の設置も折り込み済みです。そして9月からは石坂俊輔先生の協力を得て脳神経外科の新体制づくりが始まります。当院は田舎にあるものの今まで何か特色を出そうと脊椎脊髄外科やDBSを手がけてきましたが、これからは「てんかん」が目玉になっていくと期待されます。県央地区での2次救急病院としての脳外科的役割を果たしつつ「養気軒」（病む人の病のみならず心をも癒やすことの出来るところ）精神で発展してきた、そして発展していく病院ですので、今後とも長崎大学の皆様のご指導、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

（記 浦崎永一郎）

## 十善会病院



写真：脳神経外科病棟の海水浴（平成29年8月5日、高浜海水浴場にて）

栗原正紀先生（現長崎リハビリテーション病院理事長）の後任として十善会病院に赴任してはや16年が経過しました。それ以前にも3年間の勤務歴がありますから、十善会病院脳神経外科で働くこと通算19年になります。平成13年の市倉先生、原口先生から、出雲先生、中本先生、諸藤先生、林之茂先生、本田先生、野田先生、白川先生、石坂先生など多くの後輩に助けられて何とかここまでやって来られたと感謝しております（非常勤、当直支援などを含めるともっとたくさんの先生達に助けられました）。現在一緒に働いている清水先生も当院勤続11年になります。忙しい時でも2人で比較的楽しくやって来られたのは、彼の性格、気質によるものが大きいのかなと彼を育んだ長野県佐久盆地に感謝している次第です。しかしながら清水先生も50歳を過ぎ、かつての大食いは鳴りを潜

め、無理が利かない年齢になりつつあります（私自身はもっとそうですが）。そのうち高齢者脳外科医しかいない限界集落ならぬ限界脳外科になるかもと危惧しています。しかしながら社会情勢の変化、少子高齢化は長崎のみならず日本全体の宿命であり、それに対応した十善会脳外科に変貌すべく、現在模索中です。当院は今年8月から地域包括ケア病床を増床しました。また数年後には新たな土地に移転新築予定です。当院は長崎の医療ニーズに即応した、長崎市民から頼られる病院でありたいと考えており、脳神経外科も新たな存在感で長崎の脳神経外科医療の一翼を担うべく、清水先生と2人、老体にむち打って頑張る所存です。今後とも宜しく願いいたします。

当院の脳外科医療は最先端医療をバリバリやるという訳ではなくて、人間味溢れた、浪花節的な(?)医療であるのかなと自負しています。海水浴や頻回の飲み会など福利厚生も充実しております。若い脳神経外科の先生達にとって、当院での数年間の勤務は有意義なものになるであろうと考えております。若い先生方で当院に赴任されることがありましたら（それを熱望していますが）一緒に楽しく頑張りましょう。

(記 笠 伸年)

## 長崎みなとメディカルセンター



2017年4月に「市民病院」が抜け、病院名が「長崎みなとメディカルセンター（病床数513）」へ変わりました。略して「長みな」or「みなメディ」。長崎医療センターと紛らわしい？

脳神経外科の入院診療を開始して3年経過しました。当初は医師2名で、6階北病棟（混合）のなかで少ない病床を確保するため悪戦苦闘しました。2015年4月に神経内科医師と組んで脳神経当直（内科・外科を隔日）ならびに脳神経ホットラインを開始、主病棟は5階北に変わり症例数も増加しましたが、やはり混合病棟の厳しい掟（他科の病床数を守る、救急関連病棟に長居しない）があり肩身の狭い思いをしていました。ようやく2016年7月に7階北で脳神経専門病棟（51床）が独立し、2017年4月から脳神経内科・外科合わせて7名体制でのグループ診療を行っています。

さて「同一病棟で同一・類似の臓器疾患を内科・外科で相補的に診療する」、他臓器では当たり前のようなようですが、脳神経疾患で実践できている施設は限られます。患者さんの治療主体が内科になるか、外科が相応しいかは毎朝の合同カンファで適切に協議しています。難解または全身疾患を有する症例も多く、円滑な病棟運営・診療水準の向上には脳神経内科医との連携は不可欠です。

当院は心臓血管内科・外科の症例が多く連携が容易な事、またアクセスが良い事などは全身血管病（心大血管・脳血管障害）の急性期治療に関して強みと言えます。

現在の脳神経外科医は3名（昨年より平均年齢は7歳上昇）、ちなみに脳神経内科医の平均年齢は3歳下がりました。（患者も外科医も）高齢化が進むなか、QOLを大切にして日々の診療に望みたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

（記 陶山一彦）

## 小波瀬病院



## 《病院紹介》

小波瀬病院は福岡県北東部の周防灘に面した荇田町に所在します。属する京築保健医療圏の人口は北九州市の1/6でありながら面積はほぼ同等と広範囲にわたる地域です。当院は主に荇田町、行橋市、みやこ町の1市2町の一次二次救急に置ける中核病院としての役割を担っており、ICU含む一般病床と回復期リハ病棟、地域包括病床からなる全266病床のケアミックス型病院です。脳外科入院年間約300名の内、脳卒中が50%を占め次に外傷系が25%

と続きます。ご多分に漏れずこの地区も高齢化率は25%に届きつつあります。したがって入院患者平均年齢は74歳であり、85歳を超えるクモ膜下出血、90歳台の慢性硬膜下血腫も珍しくなくなりました。現在脳外科2名体制で神経疾患患者を受け入れ、時にt-PA療法や経皮的血栓回収術も行う傍ら回復期リハビリ患者の管理を行い在宅復帰を目指しています。特に急性期から積極的に摂食嚥下訓練を行うことで意識障害患者を除けば90%が経口摂取可能となっています。しかしながら患者の高齢化に伴い機能回復困難な症例も多くなっているのも事実でありPEG造設は増加傾向にあります。当院は全科型NSTを稼働しており入院時から経腸栄養含めた栄養管理を行い回復期リハ後の道筋も設計しています。同法人内に療養病床120床と老健施設196床を有し、在宅復帰が叶わぬ際には長期のケアができる体制を敷いています。障害のある人々や高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らせるよう急性期医療から在宅復帰支援まで包括的に医療体制を支援するシステムを担っていきます。

(記 高橋治城)

## 福岡青洲会病院



特に若い先生方はなぜ福岡青洲会病院が関連病院となっているかをご存知ない方もおられるかもしれませんが、まずはそのご紹介から。

当院は現・社会医療法人青洲会グループに属する福岡地区の病院です。もともと青洲会グループは昭和59年5月1日長崎県平戸市田平町に100床の青洲会病院として開院されたのがルーツで、平成26年に創立30周年を迎えました。福岡青洲会病院は平成5年12月6日に開院し、第3代院長を務められた長崎大学脳外科同門の桑原正憲先生の働きかけで平成9年より長崎大学脳外科の関連病院となっています(平成9年の年報に【新病院紹介】として当院の紹介が掲載されています)。213床の急性期および回復期病院であり、勤務する医師の出身校は長崎大学のほか、自治医大、防衛医大、九州大、福岡大など様々ですが、常勤医師38名(平成29年6月1日現在)中17名と約半数が長崎大学出身者または長崎県出身者です。ま

た、今も当院常勤医が交代で平戸の青洲会病院の診療応援にあたって長崎の地域医療に貢献しており、福岡にありながら長崎とは縁の深い病院です。

当院は以前から臨床研修病院として初期研修医1年次2名、2年次2名の計4名を定員として研修医教育も行って参りましたが、最近の話題としては今年度から長崎大学のたすきがけ病院として研修医の受け入れを若干名ではありますが開始しており、早速2年次研修医の2名の先生がこの春からこの制度を利用した研修を当院で開始されています。うち1名は外科系の診療科を目指すべく、脳外科も1か月研修してくれるとのこと。しばらく教育とは縁遠かった谷/皆川ですが、福岡の地の利を生かして時に悪どく(?)脳外科の魅力を伝えねばと考えています。当院の先生方は大変教育熱心ですので脳外科以外の診療科でも、きっと実りの多い研修となると思います。初期研修の1年間を脳外科も含めて福岡の地で希望される先生には当院を安心してお勧めください。

(記 谷 政治)

## 周南記念病院

白馬セミナー (NASPA越後湯沢にて)



周南記念病院脳神経外科部長の本田です。

鶯の鳴き声を聞きながらこの原稿を書いています。

当院が位置する山口県下松市は、東洋経済オンラインで全国住みよい街ランキングで全国18位、中国地方1位にランクされた街です。海幸山幸あり、夏は白砂青松の海岸で海水浴、または中国山地の溪流で水遊び、冬は1-2時間でスキー場に行ける場所にあり、時間があればレジャーに勤しめる立地です。

長崎に行くのに時間がかかるのが残念です

当院は今年11月で開院60年を迎える節目の年です。当院母体の社会医療法人同仁会は、初代理事長竹重一正先生(現竹重元寛先生御尊父)が、戦時中京城大学(現ソウル大学)医学部の人事で中国北京の道済病院に赴任していた際に、日本人向けの同仁会病院と知遇を得

て、現地民衆との生活指導を受けながら、医療行為をしていた経験から、名前を頂いたとのこと。

当科は、月曜朝の抄読会、火曜日の定期手術、水曜昼からの病棟・外来・MSW・リハビリテーション部を含めた総回診、金曜のサマリー・症例検討・術前検討を柱としています。適宜アンギオ、脳ドック（月/水）、マイクロの練習が入ります。手術症例などに関しては年報に譲りますが、急性期血管内治療は山口大学にDrへりで搬送し対応頂いています。また外来再診患者数もかなり整理しましたが、まだスリム化の余地があります。

以前脳神経外科ジャーナル2013年12月号に報告した脳神経外科ホットラインシステムは、各方面で同情と励ましを受けました。

二人で継続するにはかなり負担が重いのが実情です。専用のiPhoneの導入で、Facetimeによる画像転送も導入しました。近々その後の経過を報告します。

当院は医師の高齢化も進行し、年齢制限なく、60歳過ぎても全科当直を一人でやらざるを得ない状況です。本年度から当直明けに休みを取っても、みなし勤務とする制度が導入されました。Dutyがなければ、帰宅可とする制度です。この制度でいくらか体力・気力の回復がなされています。

医局派遣の前田先生も2年目となり、外科手術を積極的にこなされ、一步引いて見守っているのみです。手術に至らない症例が多く申し訳なく思っています。

前任の案田現准教授の方針である「術者ができることまで全てする」「発表したものは論文にし、世に還元する」「休める時はしっかり趣味・休憩に充てる」の意思を継続しつつ精進しています。

病院から眺める新幹線の行きかう姿に活力を貰いつつ、翡翠（カワセミ）探しをしながら通勤する今日この頃です。

遠方ではありますが、応援・叱咤激励の程引き続き宜しくお願い致します。

（記 本田 優）



## 公立みつぎ総合病院脳神経外科



公立みつぎ総合病院の脳神経外科部門は、現在三人の専門医勤務で地域医療を支えてきております。広島大学脳神経外科出身の松岡隆副院長（昭和61年卒）が、平成13年1月から勤務されており、門脇先生が転勤された後、しばらくは二人体制になっておりましたが、8年ぶりで昨年7月にリハビリテーション専門医への研修目的もあって、長崎大学脳神経外科医局から出端先生が転勤され、大変かとは思いますが、脳神経外科とリハビリテーション科の二足のわらじで担当するという重責を担っていただくにことで三人体制に戻っております。

当院は、山口昇先生（現名誉院長・特別顧問）が院長として赴任されてから、長崎大学の関連病院として各科から多くの医師派遣を継続していただいておりますが、新臨床研修医制度導入後の全国で進んだ大学医局での医師の引き上げに伴って、当院でも長崎大学医学部医局出身者は私が最後となってしまい、山口特別顧問、林顧問の3人のみとなっております。

平成16年に御調町は尾道市と合併し、尾道市立公立みつぎ総合病院として、尾道市立市民病院とともに、尾道市病院事業局部門としてそれぞれの地域での医療機能を果たしてきています。当院を中心とした医療圏域は以前から高齢化率の高い地域であり、また、当院が全国に先駆けて構築した地域包括ケアシステムとしての特養や老健施設などの介護保険部門も運営していることから、対象となる患者は必然的に高齢者が多くなり、更に再発を繰り返して入院となる脳血管障害症例も増加してきています。

脳神経外科外来診療のうち、火曜日と土曜日（第1・3週）は広島大学脳神経外科医局からの非常勤医での応援を得ており、土曜日外来は血管内治療専門外来として、未破裂動脈瘤や、広島大学での血管内治療術後患者のこの近隣地域における患者診療継続に関わっても

らっています。急患や予定手術での血管内治療については、広島大学脳神経外科のチームに必要に応じて緊急の場合でも対応していただいております、今年2月には、血管造影装置も機種を更新して、3D-CTAも即時に描出でき血管内手術への対応も改善されました。一方最近の手術症例件数については、世羅中央病院に数年前に脳神経外科医師が赴任し、世羅や久井圏域からの脳神経外科関連の受診患者数が減少してきたため、最近は手術件数も減少傾向にある状態です。

2025年を見据えた地域医療構想をふまえて、当院は急性期疾患の対応を残しつつ回復期リハビリ病棟の充実を今後図っていく予定であり、出端先生には大きな力を発揮してもらっています。これまで長崎大学脳外科医局からは30名を超える先生方の勤務で、大きな支援を継続していただきました。医局の皆様には引き続き今後も支援をお願い申し上げるとともに、同門の先生方には、機会がありましたら是非みつきへも訪問いただきたいと思います。

(記 西村修平)

## 安永脳神経外科

2000年8月に開業して19年になる。開業医の大変さが身にしみる年齢になってきた。脳神経外科専門医だけでは、診療報酬を得ることができない、様々な資格をとる必要がある。来年は診療報酬の改定がある。在宅医療、認知症が医療の中心になる。また、地域医療計画が進められ病床の機能分化が図られる。脳神経外科の診療所として年間100例前後の手術をしている。長崎大学麻酔科や脳神経外科の支援によるところが大きい。今後もこのポテンシャルを維持し地域の脳神経外科の役割を担うことは、超えなくてはならない事が多い。

今後ともご支援のほどよろしく申し上げます。

(記 安永暁生)

## 三宅脳神経外科

当院はこの11月で開院22年になります。当然ながら設備や建物の老朽化に伴い建物修理、機器の入れ替えで首が回らず頭の痛い毎日を送っております。

振り返りますに、当院の場合は10年前も今と同じ状況でした。開業当初の思惑と違い不測の事態とそれへの対処、出費に悩まされて来ましたが想定していなかった自分が甘かっただけでした。建物、設備の支払い計画は立てたらそれで終了と勘違い、経年劣化や寿命を考えた上での経営が頭の中ではありませんでした。機械購入二年目から突きつけられる高額な保守管理費、突然のMRIの故障、一年目の梅雨時から続く雨漏りへの対応が一番大変でしたが、ピークは開院10年目頃でした。MRI、CTの入れ替え、空調の入れ替え、建物のリフォーム（結局雨漏りはまだ一箇所原因不明のまま）、電子カルテの導入を行いました。当時はああ、やっと終わったかとホッとしたものですが、あっという間にまた10年が経ちました。『次は10年後ですね。』忘れていた業者の言葉が心の隅から呪いのよう襲ってきます。

そうこうするうちに、気がついたら私自身も老年の域に達しており日々の診療に支障をきたすようになりました。なんといっても仕事の処理能力が低下しました。開業医氷河期時代と言われるように当院も御多分に漏れず患者さんの減少に伴い業務内容も減っているはずなのに、その日の仕事を終わらせるのはむしろ遅くなっている気がします。のろくなったのでしょう。

以前は仕事の途中で夜の研究会に出て話を聞いて医院に戻り残務を終えていました。今は研究会がある日の閉院時になると目の前に残ったその日の仕事を眺めながら考えてしまいます。ここで中座して研究会に行くべきか仕事を終わらせてしまうべきか。つまらない事で悩みながら、ついつい足が遠のいてしまう今日この頃です。市内に居りながらご無沙汰ばかりで申し訳ありません。

悩みついでに申しますが診療で今一番困っているのはMRIで予期せず出てくる小さなDWIの高信号です。無症候性ですから古かったら、『テレビなどと言う隠れ脳梗塞ってやつですよ。』で済ませますが急性期であることは確かです。本人にきちんと説明すべきところが話の流れで経過観察入院を希望されることがあります。勤務医時代、ベッドの確保がどれほど大変か身にしみたはずなのに病院の先生方には無理なお願いをしてお迷惑をお掛けしております。電話の向こうで快く引き受けて下さる先生方の声が本当に有り難いです。

以上、近況報告ということで書きましたがこのような内容で良かったのでしょうか。

おそまつさまです。

(記 三宅仁志)

## つつみ脳神経外科クリニック



つつみ脳神経外科クリニック便りです。

開業して12年目となりました。先日、瞬間停電がありました。超伝導MRIは無事でした。計画停電を毎年1回行っていたことが本当によかったです。マニュアル化されているので、スタッフも落ち着いたものです。正直私は慌てましたが、マニュアルにしたがって、超伝導MRIを復旧させていきます。液体ヘリウムの機械室は寒いのですが、ひとつひとつ点検修正してゆきました。もちろんGEのヘルプサービスの方の電話指導の下にやってゆきましたが、見事復旧しました。

やはり有事に備えて計画停電を行う意味がやっとわかりました。今まで、電気保安協会の方が強制的に私はやらせられており、いやだいやだといっておりました。

その毎年の計画停電作業は私がGW休日返上でやっておりますので、その意味を理解していなかったのですね。

皆さん停電だけではなくいろいろな災害に備えて日ごろから訓練をやりましょうね。

ホームページの話題ですが、松尾教授が就任される1年前のことですが、私が自分で作ったホームページをお見せしたところ最初はだめと言われていましたが、その後じっくり見たところ面白いといたく気に入られ、褒められたことがありました。そのことで教授当選されたときに本当に喜びました。今の脳神経外科教室のホームページはよく出来きていますね。

さて、いまやスマホ時代となり、responsiveのホームページが主流になってきました。実は、昨年、私の開業している筑後市にもう1件脳神経外科クリニックが開業したのですが、

そのホームページが素晴らしいのです。一流の業者に作成してもらっており、スマホでもぱっちりわかるのです。私は負けたと思いましたが、業者に依頼する気にはならないのです。自分でスマホ用ホームページをいくつもいくつも作りました。そこで、最近、私は最近、Googleのストリートビューのホームページが出来たので、遂に挽回したかなと感じております。

その切っ掛けは、Googleから院内の内観のストリートビューをしませんかという勧誘の電話があったからです。費用は16万でしたが、一桁間違っていました。少し後悔しましたが、出来栄えを見て納得しました。ホームページもダイバーシファイでよいと思います。いくつもサイトの一つにGoogleストリートビューのホームページを加えました。いまやホームページを持たないクリニックは寂しい時代になりました。みなさんも気に入ったホームページを作られて下さい。

(記 堤 健二)



## 5. 先輩便り

## 5. 先輩便り

### 古賀 博明 先生

50歳で長崎市新大工町に脳神経外科の医院を開設して、すでに16年が経過しました。幸い順調に推移し、脳や神経の疾患に関して、気軽によろず相談が出来る脳神経外科の診療所として、地域の方々にも認知されていると自負しています。最近、超高齢化社会の影響か、物忘れを心配し、画像診断を含め、精査を希望して受診される方が増加してきました。認知症のサポート医研修を受け、認知症専門の精神科医とも連携しながら、患者さんや家族の方々のお話に耳を傾けています。なお、65歳を期に、週休2日制に変更、余裕をもって診療を行っています。最近、体力気力の維持増進にとウォーキングやゴルフに努め、そろそろリタイヤも視野に、医院継承の検討を思案しているこの頃です。

医局・同門会の皆様、季節柄くれぐれもご自愛ください。



## 堤 健二 先生

何をなすべきか。何をやりたいのか。目標が一番大事だと思います。あの頃の目標はなんだったのかを話し合えば元気になれるですね。どうしてその目標を持ったのかという動機がそれぞれでまた面白いのです。今、自分が持っている目標は目先の目標しかありません。振り返ると、みなさんに誇れるようなスケールの大きな目標はまだありませんでした。毎日毎日を必死に生きてきたなあという思いばかりです。これから本当にすごいぞという目標がでてくるかどうかですね。世界の歴史に残るようなスケールの大きな目標をもっている人がいれば教えて欲しいですね。長崎大学では脳神経外科教室が一番すごいと思って入局しました。森教授、小野助教授、柴田講師、岩山先生、藤田先生そして優秀な先輩方がおられました。森山先生、宮崎先生オーベンのもとで同期の岩本君と西村君と共に頑張りました。研究で脳梗塞班に入り、そこで柴田先生と安永先生と犬の動物実験に明け暮れました。血液脳関門の超微細構造を研究し、博士号を取得しました。認定医を取り、各地の関連病院を転々としてしました。八幡では安永先生の上手な手術に感動し、島原では雲仙火砕流に泣きました。最後の福岡は天国のようでした。林隆士先生と川崎病院で知り合い聖マリア病院に移籍しました。手術症例に恵まれ、満足な最高の時を過ごせました。そして福岡で開業となりました。今年で12年目となりましたが、自分にとって本当の目標がまだなく、今に本当の目標がくるのではないかと期待しています。

私の時間の多くはパソコンと囲碁に費やしています。どちらも診療と人生に有用だと信じています。まだ自慢できるレベルではありませんが、日夜上手になろうとして頑張っております。パソコンは50台を操り、囲碁は3段です。いつか皆さんの中でそのお話ができれば嬉しいです。



## 西村 修平 先生



私が公立みつぎ総合病院に赴任した平成2年6月からすでに27年経過し、これまでの人生の中で一番長く転勤せず同じ地域に居住し勤務継続してきたことになりました。その前には専門医取得後に県立島原温泉病院や長崎労災病院での勤務とカナダ留学を経ておりましたが、実は、昭和54年に2年目の研修医を大村の国立長崎中央病院で終えたばかりの時に、当時の御調国保病院に頭部CT撮影装置が導入されたこともあり、山口院長から森和夫 元教授への依頼もあって、私が初代の長崎脳神経外科医局からの派遣医として1年間勤務しておりましたので、現在は2回目の勤務で合わせると30年近くを過ごすことになります。最初の赴任時は脳外科一人医としての勤務でしたので、大村で赴任直前にいろいろと特訓を受けて来たものの、赴任3日目くらいにAVM破裂の脳内出血重篤例に遭遇し恐る恐る外科の梶原副院長に手助けしてもらって手術したことが思い出されます。2回目の勤務の最初の折には、福島先生、松尾先生（現教授）との3人体制での勤務でしたが、昭和54年から平成20年まで、当院には30名以上の先生方に長崎大学脳外科からの派遣で勤務を継続していただいております、本当にお世話になりました。

以前は脳梗塞症例については脳外科が対応することは少なく、内科疾患として診療してもらうことも多かったのですが、時代を経るに従い、脳卒中関連疾患はほぼ脳外科で診る状況に変化してきました。平成13年1月に広島大学脳神経外科医局から松岡隆 副院長（昭和61年卒）が勤務されており、平成20年に門脇先生転勤後はしばらく二人体制となっておりますが、昨年7月に久しぶりに長崎大学脳外科から、出端先生に勤務していただくことになり、三名体制になっています。出端先生はリハビリ専門医取得のための研修も目的ですので、リハビリ科との二足のわらじで多忙な毎日を送っております。

私は、平成26年4月に院長を拝命しました。最近はおっぱら管理業務と外来診療対応にあたっており、出端先生が来られてからは手術に入ることも少なくなりました。長崎大学からの医師派遣も平成20年を最後に途切れ、中山間地にある当院でも、全国的な僻地での医師不足の状況と同様で、広島大学や自治医大卒業の医師派遣も十分には至らず、医師確保は相変わらず困難な状況にあると共に、病院運営の手ごわい状況にも対応してきています。山口昇 名誉院長・特別顧問と林拓男 名誉院長・顧問は、長崎大学出身の先輩として、現在も元気に勤務され御指導いただいております、「地域包括ケア」の発祥の病院として今後も当院の機能を充実・発展させるべく努力しているところです。来年には定年を迎えますが、引き続き広島での生活が続きそうです。これまで当院で勤務され、また診療・手術支援で来院された多くの先生方、そして長崎大学脳神経外科教室同門会の先生方に、みつぎ総合病院としても厚くお礼申し上げます。

## 井上 優 先生

### ～閑話一滴～

先日、紙カルテの整理をした。電子カルテを導入して10年経過したので、紙カルテをシュレッダーで処分している。病名を見ると、平成19年頃から認知症関係の診断名が増えているが、それでも頭痛、脳梗塞、めまい、外傷が多い。開業して約25年になるが、開業医の使命の一つは、くも膜下出血、脳腫瘍など緊急性のあるものや早急な治療が必要な疾患を有する患者を見落とさないことであり、2次、3次救急病院に速やかに紹介することであろう。幸い、紹介先は勤務医最後の長崎労災病院はもちろん佐世保総合医療センターなどの病院には恵まれているので、緊急時の対応にも助けられている。

ところで、仕事に限らないが人には役割分担があり、自ら選択した中で最善を尽くせば、他人を羨む必要もないし、卑屈になることもないと思っている。高度な医療機器、優秀なマンパワーに囲まれていれば安心感もあろうが、それに慢心してはいけないと思う。最近経験や、熟練度に関わらず専門医でなくとも画像検査でほぼ診断がつくものもあるが、今の時代でも診断学が重要となる場面も多い。開業医は基本的に一人ですることが多く、スキルアップのためには、決断とさらに必要なことは反省であり、医療に限らずいろいろな場面でこれを繰り返すこと大事であると塩野 七生氏も言っている。医療分野が細分化されることは悪いことではないが、他科との連携がスムーズにできていないことも多いようだ。病院では症状が異なれば、一旦診察を終え、再度紹介状を持参させるなど一見患者負担を減らしていると言うが、私には結局紹介率を上げるためのご都合主義のように映る。

一方、診察室のドアを開けた時から診察は始まっている。シャーロックホームズの言葉を借りればただ見るだけではなく、観察がいかに重要かはいうまでもないことである。見るといえば、最近の医者は画面ばかり見てキーボードを叩くと言う患者の不満、声もかけにくいなど電子カルテの弊害もよく耳にすることであるが、私は工夫として問診、診察の後血圧は必ず診察室で計測することにしていて、時間にしてわずかではあるが、その間に入力する。患者と話すときは相手の目を見て話す。

開業したての頃は、疑い病名が多すぎると言われたこともあるが診断名はたとえ疑い病名であっても必ず伝え、納得していただく。それが不安を抱え、時間と費用を負担された患者への対応と思っている。

小生の人生も第4コーナーにかかり、若い時のようにアドレナリンが溢れることはないが、健忘症は確実にあり、願わくば思わぬハプニングは覚悟しつつ後顧の憂いなくゴールのテープを切りたいと思う。

## 栗原 正紀 先生

開設から早10年 “長崎リハビリテーション病院”

平成20年2月に回復期リハビリテーション専門病院（143床：3つの回復期リハビリ病棟を有する）として長崎リハビリテーション病院を新築、開設しました。開設した目標は「①急性期（救急）医療を支える病院になる、②主には脳卒中や頭部外傷患者に対して集中的なりハビリを行うリハビリ専門病院になる、そして③どのような障害があっても住み慣れた所で安心して暮らせるように支援する病院になる」という思いからでした。救急医療に従事する医師や看護師（特に脳神経外科）たちの努力をしっかりと受け止め、引き継ぐことで、救急医療に専念できる体制を作りたいかったのです。そのことが地域医療には非常に重要だという思いがあります。昔、十善会病院脳神経外科に勤務していた頃、遷延性意識障害の患者さんが居ました。救急搬送されてきた時には“命だけでもいいから、何とか助けてください”と言っていた家族が、手術から3カ月も経つと、意識障害が改善せず、先の明るい希望が抱けないためもあり、思わず、「やっぱり助けてもらわなければよかった」と本音をこぼされたことがあります。その時は、とてもやるせない思いでした。しかし、その様な事を言わざるを得ない家族の実情、そして何も答えることのできない状況に、打ちのめされた思いでした。必至で頑張っても、助けることのできない若い外傷の患者、もう無理だろうと思っていたら歩いて帰った高齢クモ膜下出血患者など、脳神経外科医として障害にぶつかるたびに無力感を味わい、若い人の死に向き合う時、“神様は居ないのか、居てもあまりにも気まぐれ、理不尽だ！”と思ったものでした。

自分の脳神経外科医としての技量に限界を感じたり、障害への会い対し方に疑問を抱いてきた頃に、リハビリの世界の重要性を教わりました。

当院は143床で職員が350人を越えました。徹底した多職種チーム医療の実現を目指していますから、規定以外に看護師は10対1、看護補助職は全て介護福祉士で、その他に管理栄養士や歯科衛生士、社会福祉士等が勤務しています。当然、人件費は大変ですが、MRIなど高額医療機器は無いので何とか借金も返しながら頑張っています。

いつのまにか、日本リハビリテーション病院・施設協会会長を拝命し、大規模災害リハビリ支援関連団体協議会の代表も務めています。

私が脳神経外科医であったころと比べると今や超高齢社会になっています。単に脳損傷による障害だけでなく、多くの高齢者の疾病に今ではリハビリがとても重要な時代になっています。

若い脳神経外科の先生方が少しでも多く増え、障害や患者さんの生活を視野に頑張ってもらいたいと思っています。そして長崎リハビリテーション病院に興味を持ち、新たな仲間となっていただくことを切に願っています。

参考：栗原正紀「続・救急車とリハビリテーション：2008年」（荘道社）；

長崎リハ病院開設までの主な経緯について書きました。ご一読頂ければ幸甚です。





## 6. 医局員便り

## 6. 医局員便り

### 高島 英昭 先生

リハビリテーション始めます！



「160年の歴史を持つ長崎大学病院で、初めてのリハビリテーションだけをする医者です。」と自己紹介をしています。私がそもそも脳神経外科医だったことを知っている旧友の中には「じゃあ今は脳外科の手術はしていないんですか？」と念を押してくる人もいますし、「それじゃ今は整形外科に変わったんですか？」と聞かれることもあります。リハビリテーションは整形外科の一部門という印象はまだ根強く残っているようです。

リハビリテーションは身体・心身の構造・機能に基づき、活動・参加を促して患者に最良のQOLを提供することを目的とする医学で、治療医学・予防医学に続く第三の医学とも呼ばれています。その対象とする範囲は、従来からの整形外科領域の疾患（変性疾患、骨折、切断、脊髄損傷など）や脳神経疾患（脳卒中、脳腫瘍、神経筋疾患など）・小児（先天奇形、精神運動発達遅滞など）にとどまりません。特に最近では患者の高齢化に伴い、呼吸器（肺炎、COPD、肺癌など）・心大血管（急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離など）・ガンなど内部障害に対するリハビリの需要は急速に高まっており、現在大学病院など急性期病院においては、運動器リハ・脳血管リハ・内部障害に対するリハビリは、それぞれリハビリ全体の30%ずつを占めます。

平成30年度から開始される新専門医制度では、内科・外科・小児科・産婦人科や脳神経外科など19ある基本診療科の中にリハビリテーション科も含まれています。今後もさらに高まるリハビリテーションの需要に応えられるように、優秀なリハビリテーション科専門医を育てていくことが必要です。ところが、これまで長崎県には大学病院等の基幹病院にリハビリテーション科専門医指導認定施設が一つもありませんでした。これは全国でも3県のみという状況です。本県のリハビリテーション医療を充実させ、より良い医療を提供するためにも、これからは『ホンモノ』のリハビリテーションを教育・普及していかなければなりません。

このような背景から、長崎大学では他の国立大学病院と一線を画し、整形外科の一部門ではないホンモノのリハビリテーションを立ち上げるという動きが始まりました。整形外科教授兼リハビリテーション部部长尾崎誠先生、脳神経外科教授松尾孝之先生はじめ多くの先生方のお力添えで、その中心的な位置で仕事ができることは私にとって非常に大きな喜びです。脳卒中や脳腫瘍など脳神経疾患のみならず、広い領域で最良のQOLが提供できるような医療の提供のために邁進していく所存です。同門先生方の多くの御協力を賜れば幸いです。



## 7. 長崎大学脳神経外科の現況

## 7. 長崎大学脳神経外科の現況

### 教室だより ～ 2017年～

2017年の教室便りをお届けします。医局長を拝命し1年が経過しました。この1年間、皆様のご協力のおかげで大きなトラブルもなく医局運営のお手伝いできておりますこと、感謝申し上げます。2016年度は国際的にはアメリカ大統領選、北朝鮮ミサイル問題など慌ただしいニュースが多く、国内を見ますと、熊本地震では改めて自然災害の恐ろしさを目の当たりにしました。一方で、夏に行われたリオオリンピックでは、諫早出身の内村航平選手をはじめとした日本人選手の活躍に勇気付けられた方も多かったのではないのでしょうか？

さて、2017年度は長崎大学脳神経外科教室に4名の優秀な新入医局員を迎えることができました。杉川知香先生、高平良太郎先生、吉村正太先生、田代（古賀）美由紀先生です。4名の先生は長崎大学だけでなく、長崎医療センター、済生会長崎病院の脳神経外科で初期研修を積み、入局を決めて頂きました。関連施設脳神経外科における御指導の影響が大きいと考えられます。この場をお借りして御礼申し上げます。

杉川先生、高平先生は大学病院にて研修を積んでおり、刺激的な日々を過ごしています。従来は毎日AM7:30に開始していたカンファレンス・抄読会を4月からAM8:00開始として少し余裕を持たせるようにしました。将来的には今後も女性脳外科医が増えてくると思われ、今後もよりフレキシブルな対応をしていく予定です。遅刻したときにアイスクリームを全員にごちそうするルールは引き継いでおります。吉村先生は島原病院にて研修中で、積極的に診療に取り組んでいます。古賀先生は初期研修終了時に妊娠中で、その時に入局を決めて頂きました。現在は出産育児休暇中です。先日、無事に元気な赤ちゃんが生まれました、おめでとございます。

教室人事としましては関連施設である北九州市立八幡病院が越智先生のみ配置に、また恵美須町病院がなくなり、長崎あじさい病院に柴山先生が異動になりました。戸田啓介先生が長崎医療センターから長崎川棚医療センター（6/1-）へ、八木伸博先生が恵美須町病院から長崎みなとメディカルセンターへ、川原一郎先生が長崎労災病院から長崎医療センターへ、石坂俊輔先生が石坂脳神経外科へ、郡家克旭先生が長崎大学から長崎労災病院へ、大園恵介先生が長崎大学病院から長崎医療センターへ異動となりました。また、長崎みなとメディカルセンター、長崎医療センターで研修を積んでいた伊木勇輔先生、佐藤慧先生は長崎大学へ戻り、ご活躍中です。更に高島英昭先生が産業医科大学より長崎大学リハビリテーション科に戻ってこられました。今後は脳神経外科においてもダイバーシティが求められる時代と考えられます。脳神経外科医としての将来像をどう考えるか、急性期治療、慢性期治療、リハビリ、開業、研究職、経営管理職など、どの方向性においても十分にバックアップできる教室でありたいと思います。賛助会員施設としてはエキサイカイ病院、愛野記念病院が新たに加わりました。

今年の脳神経外科専門医試験には教室から梅野哲也先生が無事合格されました。今後のご活躍に期待します。また、新しく医局事務担当としまして、木戸彰乃さんが加わりました。

山本さん、丸尾さん、増田さん、木戸さんの強力カルテットとともに教室運営を行います。同門の先生方、宜しくお願い申し上げます。

最後に、論文作成の登竜門である“脳神経外科（医学書院）”に医学部6年生（クリクラ）の論文2編が2017年4月、6月（7月）にそれぞれ掲載されました。今の医学部生はとても積極的に高次研修を受けています。今後も脳神経外科におけるearly exposureを進めていき、魅力的な長崎大学脳神経外科教室を作っていけるよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

（記 堀江信貴）

## 8. 新入局員紹介

## 8. 新入局員紹介

### 高平 良太郎



2017年4月よりお世話になっております新入局員の高平良太郎と申します。出身は長崎県佐世保市で佐賀の弘学館高校を経て長崎大学医学部入学、済生会長崎病院と長崎大学病院で初期研修を行いました。今年度より長崎大学病院にて脳神経外科修練医として働いております。私は実家が外科で開業しており、長男としてその開業を継ぐために医師を志しました。しかし5年生の実習の際に脳神経外科を回った際に非常に惹かれるものがありました。その後も初期研修で済生会長崎病院、長崎大学病院と研修を行わせていただき、急性期疾患から手術、リハビリテーションに至るまで幅広い分野とそのやりがいを肌で感じ、脳神経外科医になることを決めました。現在長崎大学病院で手術手技から病棟管理など多くのことを勉強させていただいております。脳外科医として4ヶ月経ちますが日々真新しいことの連続です。

今後様々な関連病院で働き諸先生方には大変お世話になることと思います。まだまだ至らない点ばかりでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、日々一生懸命精進してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 柚川 知香



2017年度に入局いたしました柚川知香（そまがわ ちか）と申します。苗字が珍しいからかよく出身地を聞かれますが、生まれも育ちも長崎で、卒業後は長崎医療センターで2年間初期研修を行いました。もともと神経疾患に興味があり、ポリクリ、クリクラで勉強させていただき、医療センターで2か月間研修させていただきました。医療センターでは、血管障害、脳腫瘍、てんかん、脊椎、外傷など幅広い疾患を経験することができ、また冬だったので急患も多く、2か月間で60症例の手術に入らせていただきました。想像していた通りすべての研修の中で一番忙しい科だったと思いますが、先生方の熱いご指導のもと大変充実した2か月間を過ごすことができ、脳神経外科への興味もますます沸くばかりでした。先生方の温かいサポートもあり、また同じ医療センターで研修した吉村くんを含め同期が多く心強いということもあって、思い切って入局を決めました。4月から長崎大学病院で修練医として勤務しております。毎日自分の勉強不足を痛感し、先生方に助けていただければいいのですが、一つ一つ知識や経験が増えていくことがとても楽しく、充実した毎日を過ごしています。早く一人前の脳神経外科医になるべく、私の座右の銘である「本物は続く、続けると本物になる」のように、謙虚に努力を続けていきたいと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 古賀 美由紀



初めまして。このたび長崎大学脳神経外科に入局いたしました古賀美由紀と申します。今年度は産休・育休を取得しており、来年度に復帰を考えております。最近、子供の日々の成長に感動したり、ちょっとした可愛い仕草を微笑ましく思ったりと、やっと育児を楽しむ余裕が出てきたところです。このような貴重な経験をさせて頂けるのも松尾教授のご理解あってこそのものであり、そのご厚意にただただ感謝しております。

私が脳神経外科医を志したのは臨床実習がきっかけです。それまでは、専ら機能や働きなど、基礎医学に興味を抱いておりました。

実習では障害を受けた部位によって出現する症状は様々で、手術によってその症状を緩和できることに強く感銘を受けました。また、多くの重症患者がこの先どうなっていくのか大変興味深く、高次臨床実習で回って診てみたいと思うようになりました。高次臨床実習では、脳出血で救急搬送された患者さんを担当させて頂きました。自分とほとんど歳が変わらない女性の方でとても印象に残っております。来院時の意識レベルはJCS3桁で、私が回った4週間間に完全に意識レベルが回復することなく、退院まで見届けることができずに実習が終わってしまいました。一年後の研修で回った際、再度担当させて頂くと、一年前までは想像もつかなかった歩いたり、話したりが出来るようになっていて、その姿にとっても驚きました。あんなに重症だった患者さんもここまで回復することが出来るようになるんだと感激したのを覚えています。この患者さんのように、自分も脳神経外科の診療に携わりたいと思うようになりました。とは言え、とてもハードワークな診療科、まして育児・家事と両立なんて自分には出来ないと妊娠を機に諦め、比較的復帰がしやすい放射線科に入ろうと思っておりました。しかし、松尾教授や医局長の堀江先生に、初めから完璧に同じように働けなくてもいいよ、ゆっくり出来るようになればいいよとお言葉を頂き、自分も挑戦してみようと思えました！何かとご迷惑をお掛けすることも多々あると存じますが、自分に出来ることを一生懸命取り組んで参りたいと思っております。来年度、諸先輩方と働けるのを心待ちにしております。

## 吉村 正太



2017年4月より長崎大学脳神経外科に入局しました吉村正太と申します。

私は、長崎市出身で青雲高校、長崎大学医学部卒業後、長崎医療センターで2年間研修し、現在長崎県島原病院で勤務しています。私は学生の頃に奨学金を借りていた関係で離島・へき地医療に従事することになりますが、米倉先生はじめ、多くの先生方のお力添えのもと脳神経外科の道を開いていただいたことに感謝してもしきれません。

この恩を忘れず、一人前の脳神経外科医になれるよう精進したいと思います。

趣味は小学生の頃から始めた野球です。大学でも野球部に所属しておりました。毎年開催される脳神経外科野球大会にも学生の頃より参加させていただいております。

今年も7月に開催されるようなので日頃から肩をあたため、万全の準備で臨みたいと思っております。

まだまだ未熟者で諸先輩方にお世話になることがたくさんあると思いますが、「視野を広く」をモットーに精一杯頑張っていきたいと思っておりますのでご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

---

2017年12月発行

2016年度

長崎大学脳神経外科学教室年報

編集兼発行 特定非営利活動法人長崎脳神経外科研究会  
印刷 株式会社 クイックプリント

---

